

イヌハギ

学名 *Lespedeza tomentosa* (Thunb.) Sieb. ex Maxim.

目名

目名学名

科名 マメ科

科名学名 Leguminosae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 準 (NT)

NO IMAGE

[選定理由]

県内では、生育地が人里近くや市街地にあつて散在し、個体数は少ない。土地改変や植生遷移の進行により、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	中津・宇佐低地, 玖珠丘陵地・山地, 別府湾沿岸域, 大分川・大野川丘陵地, 豊後水道域
分布域	本州,九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	中国(東北部),中国,台湾,インド,東シベリア
生育環境	低地や丘陵地の空き地や草地。
現 状	市街地やその周辺地の生育地で, 土地が改変されて消滅した所がある。
備 考	

クズモダマ

学名 *Mucuna macrocarpa* Wall.

目名

目名学名

科名 マメ科

科名学名 Leguminosae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし



[選定理由]

亜熱帯から東南アジアまで分布する大形の木質つる植物。鹿児島島の馬毛島に分布し、九州本土の当該地に隔離分布している。植林地の生育地では切られるほか、斜面の崩壊などによる生育環境の悪化が懸念される。

県内分布	豊後水道域
分布域	九州(大分・鹿児島)
世界的分布	中国南, 東南アジア
生育環境	海岸の崖地。
現状	崩壊などの影響はあるものの、生育地は近年少し広がっている。
備考	暖地植物。県指定天然記念物「蒲江カズラ」(蒲江町)、カマエカズラはクズモダマの別名。以前はカマエカズラと呼ばれていた。地元ではウマカズラと呼び、牛馬の飼料にしていた。

シバネム

学名 *Smithia ciliata* Royle

目名

目名学名

科名 マメ科

科名学名 Leguminosae

カテゴリー 大分県：準 (NT) 環境省：情報不足 (DD)

NO IMAGE

[選定理由]

県内の生育地は比較的多く、生育地も広い。個体数もかなり多いが、環境の変化による個体数の減少や衰退が懸念される。

県内分布	玖珠丘陵地・山地, 由布・鶴見火山群, 九重火山群
分布域	本州(近畿地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 琉球
世界的分布	台湾, 中国, インドシナ, フィリピン, インド
生育環境	低地や丘陵地の草地。
現状	県内の分布地域は、野焼き草原の減少で、少なくなっている。
備考	

オオバクサフジ

学名 *Vicia pseudo-orobus* Fisch. et Mey.

目名

目名学名

科名 マメ科

科名学名 Leguminosae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

火山性高原の草原に生えるが、各地の草原開発が進み、植林されて生育地が減少し、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	津江山地, 九重火山群, 大分川・大野川丘陵地, 大野川上流域
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部), 中国(北部), アムール, ウスリー, 東シベリア
生育環境	丘陵地の草地や林縁。
現 状	土地開発や植林などで生育地が減少し、植生遷移の進行で生育状態が悪化した所がある。
備 考	北方寒冷地要素の植物で、九州は分布の南限域にあたる。

ヒメヨツバハギ

学名 *Vicia venosa* (Willd.) Maxim. var. *minor* Nakai

目名

目名学名

科名 マメ科

科名学名 Leguminosae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

主として火山性高原の草原に生育しているが、生育地、個体数ともに少ない。草地開発や植林、野焼きの停止などで植生が遷移し、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群
分布域	本州, 四国, 九州(佐賀・大分・宮崎)
世界的分布	(母種は北方寒冷地に分布)
生育環境	丘陵地や低山地の草原。
現 状	草原開発や植林, 野焼きの停止などで生育環境が改変され, 生育の把握ができない所がある。
備 考	

アカササゲ

学名 *Vigna vexillata* Benth. var. *tsusimensis* Matsumura

目名

目名学名

科名 マメ科

科名学名 Leguminosae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: I A (CR)

NO IMAGE

[選定理由]

分布域が極めて狭く、本県での生育地も一地域に限られ、生育地、個体数とも僅少。林縁や路傍に生育しているため、植生遷移の進行や採草などの影響で、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	日田低地・丘陵地
分布域	九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低地や丘陵地の日当たりのよい林縁や路傍。
現 状	クズなどと競合して、生育状態に著しい消長がみられる。
備 考	

タチフウロ

学名 *Geranium krameri* Franch. et Savat.

目名

目名学名

科名 フウロソウ科

科名学名 Geraniaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

主として九重火山群の草原に生えるが、生育地、個体数ともに少ない。高原の土地開発や植生遷移の進行による環境変化で、生育地が消滅し、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	九重火山群, 大分川・大野川丘陵地
分布域	本州,九州(熊本・大分)
世界的分布	朝鮮半島,アムール,ウスリー,中国(東北部)
生育環境	丘陵地や低山地の草原や林縁。
現 状	火山性高原のやや湿った草原に生えるが,高原の土地開発で生育地が消滅している。「大分川・大野川丘陵地」の標本はあるが,その生育地は把握されていない。
備 考	

イヨフウロ

学名 *Geranium shikokianum* Matsumura

目名

目名学名

科名 フウロソウ科

科名学名 Geraniaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

全国的に分布域が狭い。本県では西部・中部の火山群の中腹や山頂帯に生育し、しばしば群生している。植生の遷移や登山者の踏圧などによる生育環境の悪化が懸念される。

県内分布	玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群,(祖母・傾山地)
分布域	本州(静岡,中国),四国,九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	火山の中腹や山頂帯の草原や林縁。
現 状	森林の発達や登山者の踏圧などにより生育環境が悪化している。「祖母・傾山地」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。
備 考	ソハヤキ要素の植物。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]

ツクシフウロ

学名 *Geranium soboliferum* Komar. var. *kiusianum* (Koidzumi) Hara

目名

目名学名

科名 フウロソウ科

科名学名 Geraniaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: II (VU)



[選定理由]

分布域が狭い。湿地に生育し、しばしば群生するが、生育範囲は狭い。草地開発や土地開発などで生育地が改変され、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	九重火山群, (祖母・傾山地)
分布域	九州(熊本・大分)
世界的分布	
生育環境	低山地の湿地。
現 状	火山性高原の生育地が各種の開発で消滅している。「祖母・傾山地」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。
備 考	九州の特産種とされる。基準標本産地〔九重町田野〕。関東, 朝鮮半島, 中国(東北部)に分布するアサマフウロ(<i>G. soboliferum</i>)とは別種とされている。国立公園指定植物〔阿蘇くじゅう〕

コミヤマカタバミ

学名 *Oxalis acetosella* L.

目名

目名学名

科名 カタバミ科

科名学名 Oxalidaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内では生育地は点在し、個体数も極めて少ない。森林伐採や出水などの環境変化で、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地, 祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	北海道, 本州(北～中部), 九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	北半球温帯北部
生育環境	丘陵地や低山地の溪谷沿いの岩場や林縁。
現 状	「津江山地」の生育地は、道路周辺地のため消滅した可能性が大きい。
備 考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]

オオヤマカタバミ

学名 *Oxalis obtriangulata* Maxim.

目名

目名学名

科名 カタバミ科

科名学名 Oxalidaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

分布域は広い範囲に及ぶものの、その生育地は少ない。県内の生育地は局限されており、個体数も僅少。特異な葉形で目立ちやすく、人による採取のおそれがあり、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	九重火山群
分布域	本州, 四国, 九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	朝鮮半島, アムール, ウスリー
生育環境	低山地の林内。
現 状	過去の台風のため、倒木により生育環境が攪乱されて、個体数が著しく減少した。
備 考	

マツバニンジン

学名 *Linum stelleroides* Planch.

目名

目名学名

科名 アマ科

科名学名 Linaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：I A (CR)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(別府湾沿岸域)
分布域	北海道,本州,四国,九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分)
世界的分布	朝鮮半島,中国(東北部),中国,アムール,ウスリー
生育環境	低地の草地。
現 状	「別府湾沿岸域」で採集されているが、その後の生育状態は不明。
備 考	

タチバナ

学名 *Citrus tachibana* (Makino) C. Tanaka

目名

目名学名

科名 ミカン科

科名学名 Rutaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)

NO IMAGE

[選定理由]

県内では石灰岩地に生え、生育地は極めて希で、個体数も僅少。確認された生育地は人里近くの林内にあって、森林伐採や人による採取などで、絶滅の危険性が高い。

県内分布	石灰岩地域
分布域	本州(静岡・愛知・和歌山), 四国, 九州(福岡・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	台湾
生育環境	石灰岩地の林内。
現状	確認されたタチバナは数株。開花し、実をつけるものもある。
備考	津久見市長泉寺のタチバナは、周辺の石灰岩地に自生していたものを移植したとされていたが、1994年に枯死した。

ヒナノカンザシ

学名 *Salomonina ciliata* (L.) DC.

目名

目名学名

科名 ヒメハギ科

科名学名 Polygalaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(別府湾沿岸域)
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島(南部)～台湾, インド, マレーシア, オーストラリア
生育環境	低地のため池湿地。
現 状	「別府湾沿岸域」で採集されているが, その後の生育状態は不明。
備 考	国立公園指定植物[瀬戸内海]

イワタイゲキ

学名 *Euphorbia jokinii* Boiss.

目名

目名学名

科名 トウダイグサ科

科名学名 Euphorbiaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

海岸の岬や島の岩場に生育し、しばしば小群落をつくる。大波による被害や海浜のレジャーによる影響で、生育環境の悪化が懸念される。

県内分布	姫島・国東海岸，豊後水道域
分布域	本州(房総半島以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	台湾, 朝鮮半島
生育環境	海岸の岩場。
現 状	生育地ではいずれも小群落で株立ちするが，個体数は限られている。しばしば台風などで被害を受け，流木などに埋もれて衰退した所がある。
備 考	国立公園指定植物[瀬戸内海]

ホソバツルツゲ

学名 *Ilex rugosa* Fr.Schm. var. *stenophylla* (Koidzumi) Sugimoto

目名

目名学名

科名 モチノキ科

科名学名 Aquifoliaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし



[選定理由]

本州，四国に分布するが個体数は少ない。2003年に大分県の「九重火山群」で初めて生育が確認された。生育地は局限され，個体数も少ない。植生遷移や森林伐採などにより絶滅の危険性が高い。

県内分布	九重火山群
分布域	本州(中部地方南部, 紀伊半島), 四国, 九州(大分)
世界的分布	
生育環境	山地の林内。
現状	落葉広葉樹林内の山陰系火山岩類が堆積したコケ類の多い林床に生育している。
備考	

ヒゼンマユミ

学名 *Euonymus chibai* Makino

目名

目名学名

科名 ニシキギ科

科名学名 Celastraceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: IB(EN)

NO IMAGE

[選定理由]

「豊後水道域」のごく限られた海岸林に生育し、個体数も少ない。生育する幼木が少なく、人による伐採もあって、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	豊後水道域
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・長崎・大分・鹿児島), 沖縄
世界的分布	朝鮮半島(南部)
生育環境	海岸林内。
現 状	「豊後水道域」の保存のよい島の林内にみられるが、生育が確認されている島は少ない。
備 考	

サワダツ

学名 *Euonymus melananthus* Franch. et Savat.

目名

目名学名

科名 ニシキギ科

科名学名 Celastraceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

県内の分布域は比較的広いが、溪畔や林縁に生えるため、森林伐採や風水害による環境変化で、生育地の減少が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地, 北川上流域
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や低山地の谷沿いの林縁, 林内。
現 状	溪谷沿いの生育地で, 森林伐採されたり, 風水害により土砂で埋没し, 消滅した所がある。
備 考	

ナガバヒゼンマユミ

学名 *Euonymus oblongifolius* Loes. et Rehd.

目名

目名学名

科名 ニシキギ科

科名学名 Celastraceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: I A (CR)

NO IMAGE

[選定理由]

現在,日本においては「耶馬溪地区」のみに生育がみられる。個体数も極めて僅少。林内に生えるが,最近,その周辺地のものが伐採され,絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	耶馬溪地区
分布域	九州(大分)
世界的分布	中国(雲南,四川,湖南,江西,安徽,析江,福建,広西)
生育環境	低地の林内。
現状	「耶馬溪地区」の神社林と神社境内の林縁に生育し,個体数は僅少。生育地が人里近いため草刈りや森林伐採で,個体数が減少している。
備考	ナガバヒゼンマユミ(初島住彦:日本新産植物2種 植物地理・分類研究 39(1)39-40 1991)。指定希少野生動植物。

ショウベンノキ

学名 *Turpinia ternata* Nakai

目名

目名学名

科名 ミツバウツギ科

科名学名 Staphyleaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

亜熱帯性の植物で「豊後水道域」の島に分布し、生育地は極めて希で、個体数も僅少。道路の拡幅や山林の伐採などにより、絶滅の危険性が高い。

県内分布	豊後水道域
分布域	四国,九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎),沖縄
世界的分布	台湾
生育環境	海岸の林縁,林内。
現状	林縁に生育しているもので、たびたび枝切りされたものがある。
備考	暖地植物。

ナンゴクミネカエデ

学名 *Acer australe* (Momotani) Ohwi et Momotani

目名

目名学名

科名 カエデ科

科名学名 Aceraceae

カテゴリ 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内の生育地はごく希で、個体数も僅少。森林伐採や自然災害などによる生育地の減少が懸念される。

県内分布	九重火山群, 祖母・傾山地
分布域	本州(奈良), 四国, 九州(大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	山地の林内。
現 状	ごく最近, 「九重火山群」と「祖母・傾山地」で生育地が確認されたが, 個体数は極めて少ない。
備 考	

フシノハアワブキ

学名 *Meliosma pinnata* (Roxb.) Walp. subsp. *arnottiana* (Walp.) var. *oldhamii* (Maxim.) Beus.

目名

目名学名

科名 アワブキ科

科名学名 *Sabiaceae*

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地が狭い範囲に限定され、個体数も極めて少ない。森林伐採による消滅や生育地の環境変化が懸念される。

県内分布	日田低地・丘陵地, 津江山地
分布域	本州(山口),九州(長崎・熊本・大分)
世界的分布	台湾,中国,朝鮮半島(南部)
生育環境	丘陵地の林内。
現 状	成木は数本, 幼樹もわずかし確認できていない。
備 考	

アオカズラ

学名 *Sabia japonica* Maxim.

目名

目名学名

科名 アワブキ科

科名学名 *Sabiaceae*

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: IB(EN)



[選定理由]

県内では県西部、県南部の一部に限られ、生育地は点在し、いずれの生育地でも個体数は少ない。特に人工林周辺の生育地は、環境の変化や林業作業などによる絶滅が懸念される。

県内分布	日田低地・丘陵地, (英彦山・犬ヶ岳山地), (豊後水道後背地域), (大野川上流域)
分布域	四国,九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	中国
生育環境	丘陵地の林縁。
現状	県東部地域では生育地が減少している。2005年ごろ「日田低地・丘陵地」で良好な生息地を確認。
備考	

ハガクレツリフネ

学名 *Impatiens hypophylla* Makino

目名

目名学名

科名 ツリフネソウ科

科名学名 Balsaminaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

本県では主として南部・西部地域に分布し、生育地ではしばしば群生している。林道開発や森林の伐採で生育地が減少し、植林などによる生育環境の変化で、生育地の衰退が懸念される。

県内分布	津江山地, 九重火山群, 祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	本州(紀伊半島), 四国, 九州(福岡・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	低山地や山地の湿った林縁。
現 状	低山地の林縁に群生していた生育地が、植林や林道開発で消滅した所がある。
備 考	ソハヤキ要素の植物。

エンシュウツリフネソウ

学名 *Impatiens hypophylla* Makino var. *microhypophylla* (Nakai) Hara

目名

目名学名

科名 ツリフネソウ科

科名学名 Balsaminaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

県内では西部に隔離分布しており、生育範囲は狭く、個体数も少ない。林縁や路傍の人為の影響を受けやすい所では生育環境が悪化し、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群
分布域	本州(中部地方南部), 九州(福岡・熊本・大分)
世界的分布	
生育環境	丘陵地のやや湿潤地の林縁。
現 状	「津江山地」の生育地では、林道工事や帰化植物などの侵入で減少している。
備 考	本県の生育地は、分布の南限域にあたる。

ハマナツメ

学名 *Paliurus ramosissimus* (Lour.) Poir.

目名

目名学名

科名 クロウメモドキ科

科名学名 Rhamnaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

全国的に分布域が限られており、本県でも生育地、個体数とも僅少。生育地が人類文化地に接しているため、地域開発による、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	(別府湾沿岸域), 豊後水道域
分布域	本州(東海道以西), 四国, 九州(佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	台湾, 中国, 朝鮮(南部)
生育環境	海岸の林縁。
現 状	「別府湾沿岸域」の標本や記録はあるが、その生育地は把握されていない。
備 考	

イソノキ

学名 *Rhamnus crenata* Sieb. et Zucc.

目名

目名学名

科名 クロウメモドキ科

科名学名 Rhamnaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

分布域は狭い。県内では生育地は点在し、個体数も少ない。伐採や植生遷移の進行により消滅した生育地があり、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	耶馬溪地区, 英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地, 玖珠丘陵地・山地, (別府湾沿岸域), 大分川・大野川丘陵地, 豊後水道後背地域, 北川上流域
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低地から低山地の林内。
現状	やや疎開した林内に生え, 遷移の推移に伴って衰退する傾向がある。「別府湾沿岸域」の生育地は伐採されて消滅した。
備考	

ウドカズラ

学名 *Ampelopsis cantoniensis* (Hook. et Arn.) Planch.

目名

目名学名

科名 ブドウ科

科名学名 Vitaceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

主として低地の谷沿いの林縁に生えるが、個体数は多くない。刈草、林道工事や植林などの環境変化の影響を受け、生育地の減少が懸念される。

県内分布	豊後水道域, 豊後水道後背地域
分布域	本州(和歌山・奈良・中国地方西部), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	台湾, 中国
生育環境	低地や丘陵地の林縁。
現 状	県内で広範囲の記録があるが、生育地が確認されている所は極めて少ない。
備 考	

シラガブドウ

学名 *Vitis amurensis* Rupr.

目名

目名学名

科名 ブドウ科

科名学名 Vitaceae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: I B (EN)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(日田低地・丘陵地)
分布域	本州(岡山),九州(大分)
世界的分布	朝鮮半島,中国(東北部),アムール
生育環境	丘陵地から低山地の林縁。
現 状	「日田低地・丘陵地」の林縁で1個体が発見されたが,台風のと,災害復旧事業によって攪乱され,その後,その生育地は確認されていない。
備 考	

ケサンカクヅル

学名 *Vitis gilbo-tomentosa* Makino et F. Maekawa ex F. Mawkawa

目名

目名学名

科名 ブドウ科

科名学名 Vitaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

全国的にも分布は限られている。本県では「豊後水道域」に分布するが、個体数は少ない。生育地は林縁のため、伐採や植生遷移の進行などの影響を受け、生育地の減少が懸念される。

県内分布	豊後水道域
分布域	本州(近畿地方,若狭),四国,九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低地の林縁。
現 状	「豊後水道域」の南部海岸の林縁に生える。植生遷移が進み、生育環境が悪化して消滅した所がある。
備 考	

ブンゴボダイジュ

学名 *Tilia intonsa* Wils. ex Rehd. et Wils.

目名

目名学名

科名 シナノキ科

科名学名 Tiliaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし



【選定理由】

中国の雲南省と四川省に主分布域があり、本県に隔離分布する。個体数が極端に少なく、指定木以外のものは伐採されるおそれもあり、絶滅の危険性が高い。

県内分布	九重火山群
分布域	九州(大分)
世界的分布	中国(四川省・雲南省)
生育環境	丘陵地の林縁。
現状	昔は付近に多くあったとされるが、現在では指定木以外にごくわずかな個体数がみられるだけである。県指定天然記念物である大株については、所有者や付近住民の保護意識は高い。
備考	県指定天然記念物「相挟間のブンゴボダイジュ」(九重町)

ケナシシナノキ

学名 *Tilia japonica* (Miq.) Simonkai var. *leiocarpa* Nakai

目名

目名学名

科名 シナノキ科

科名学名 Tiliaceae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(九重火山群)
分布域	四国,九州(大分)
世界的分布	
生育環境	低山地の林内。
現 状	本州(中国), 四国に分布する。九州では「九重山火山群」で採取されたことがあるが、以後、その生育地は確認されていない。
備 考	

ツクシボダイジュ

学名 *Tilia rufo-villosa* Hatusima

目名

目名学名

科名 シナノキ科

科名学名 Tiliaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省： I B (EN)



【選定理由】

県内の狭い範囲に生育する特産種である。繊維植物として大切に護り育てられてきたが、利用されることが少なくなり、耕地や家屋の陰にもなることから伐採されることが多く、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	九重火山群
分布域	九州(大分)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や低山地の林縁, 里山, 耕地の周辺。
現 状	九重の南北丘陵地に100本余が残っている。実生苗がほとんどみられず減少が続いている。
備 考	基準標本産地[九重町笠口]。県指定天然記念物「久住のツクシボダイジュ」(久住町)。

ハマボウ

学名 *Hibiscus hamabo* Sieb. et Zucc.

目名

目名学名

科名 アオイ科

科名学名 Malvaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

四国, 九州などを分布域とする。本県では海岸の河川汽水域に生育する。港湾改修や河川改修工事などにより, 生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	周防灘海岸, 姫島・国東海岸, 別府湾沿岸域, 豊後水道域
分布域	本州(神奈川以南), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	韓国(済州島)
生育環境	海岸の泥地や河川汽水域の泥地。
現状	「別府湾沿岸域」では, 河口付近の港湾工事や河川改修などにより, 消滅したり所が多い。河川改修工事に伴い, 保護対策を講じたりしている所がある。
備考	国立・国定公園指定植物[瀬戸内海, 日豊海岸]

コウライトモエソウ

学名 *Hypericum ascyron* L. var. *longistylum* Maxim.

目名

目名学名

科名 オトギリソウ科

科名学名 Guttiferae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)



[選定理由]

本県の生育地は点在し、個体数は少ない。植生の遷移や生育地の土地開発などにより、絶滅の危険性が高い。

県内分布	玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, (祖母・傾山地)
分布域	九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部), 蒙古, アルタイ, ダブリア
生育環境	丘陵地や低山地の草原。
現 状	生育環境が改変され消滅した生育地がある。「祖母・傾山地」の標本はあるが, その生育地は把握されていない。
備 考	大陸系遺存植物。

トモエソウ

学名 *Hypericum ascyron* L.

目名

目名学名

科名 オトギリソウ科

科名学名 Guttiferae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)

NO IMAGE

[選定理由]

本県の生育地は点在し、個体数は少ない。植生の遷移や生育地の土地開発などにより、絶滅の危険性が高い。

県内分布	玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, (祖母・傾山地)
分布域	九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部), 蒙古, アルタイ, ダフリア
生育環境	丘陵地や低山地の草原。
現 状	生育環境が改変され消滅した生育地がある。「祖母・傾山地」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。
備 考	大陸系遺存植物。

アゼオトギリ

学名 *Hypericum oliganthum* Franch. et Savat.

目名

目名学名

科名 オトギリソウ科

科名学名 Guttiferae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: I B (EN)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(耶馬溪地区), (九重火山群)
分布域	本州(関東以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	朝鮮半島
生育環境	
現 状	
備 考	「耶馬溪地区」の文献記録, 「九重火山群」の標本はあるが, その生育地は把握されていない。文献[木村陽二郎: 日本産弟切草の記載 植物学雑誌 52 (1938)]

タカネオトギリ

学名 *Hypericum sikoku-montanum* Makino

目名

目名学名

科名 オトギリソウ科

科名学名 Guttiferae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

分布域は狭く、生育地も局限され、個体数も極めて少ない。背丈が低く、他の植物に覆われて減少傾向にあり、人による採取もあって、絶滅の危険性が高い。

県内分布	九重火山群,由布・鶴見火山群,祖母・傾山地
分布域	四国,九州(大分)
世界的分布	
生育環境	山地の草原や林縁。
現 状	日当たりの良い所に生育する。草丈が低いので,他の植物に被圧されて生育地,個体数ともに減少している。
備 考	国定公園指定植物[祖母傾]

クモイオトギリ

学名 *Hypericum sikokumontanum* Makino var. *hyugamontanum* (Y. Kimura) Ohwi

目名

目名学名

科名 オトギリソウ科

科名学名 Guttiferae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(祖母・傾山地)
分布域	九州(大分)
世界的分布	
生育環境	
現 状	「祖母・傾山地」の標本,文献記録はあるが, その生育地は把握されていない。
備 考	基準標本産地[祖母山]。文献[木村陽二郎: 日本産弟切草の記載 植物学雑誌 52 (1938)]

ミズオトギリ

学名 *Triadenum japonicum* (Bl.) Makino

目名

目名学名

科名 オトギリソウ科

科名学名 Guttiferae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内中部地域の湿地に点在し、個体数も少ない。湿地開発や乾燥化による生育環境の変化、生育地の減少が懸念される。

県内分布	(英彦山・犬ヶ岳山地), 津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部), ウスリー
生育環境	丘陵地や低山地の湿地。
現 状	生育環境が乾燥化して, 生育状態が悪化した所がある。「英彦山・犬ヶ岳山地」の標本はあるが, その生育地は把握されていない。
備 考	

サクラスミレ

学名 *Viola hirtipes* S. Moore

目名

目名学名

科名 スミレ科

科名学名 Violaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

県内では西部・中部の火山性草原に偏在する。草原の野焼きの停止による植生変化や植林，草地改良事業などにより，生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	玖珠丘陵地・山地，九重火山群，由布・鶴見火山群
分布域	北海道，本州，四国，九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島，中国(東北部)，ウズリー
生育環境	丘陵地や山地の草原や林縁。
現 状	人工草地の改変で消滅した所がある。
備 考	

キスミレ

学名 *Viola orientalis* (Maxim.) W. Becker

目名

目名学名

科名 スミレ科

科名学名 Violaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし



[選定理由]

県内では、主として火山性草原に生育している。野焼きを停止したり、人工牧野に改変される所が多く、生育環境の変化や生育地の改変で、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 別府湾沿岸域, 由布・鶴見火山群, 大野川上流域
分布域	本州(静岡, 山梨), 九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部), 中国(山東省)
生育環境	丘陵地から山地の乾いた草原や疎林内。
現状	「九重火山群」や「由布・鶴見火山群」で土地改変をした所や、野焼きを停止した所ではすでに消滅している。
備考	大陸系遺存植物。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]

ホソバシロスミレ

学名 *Viola patrinii* A.P.DC. var. *angustifolia* Regel

目名

目名学名

科名 スミレ科

科名学名 Violaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

中国地方以西に生育し、分布域が狭い。本県では北部・西部・中部地域に点在する。草地改良事業や植林化で生育環境が改変され、消滅の危険性が高くなっている。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群
分布域	本州(近畿・中国地方), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	丘陵地から山地の草原。
現 状	人工草地改良や植林化で消滅した所がある。
備 考	大陸系遺存植物。母種は朝鮮半島, 中国東北部, アムール, ウスリー, 東シベリアに分布する。

夕チスミレ

学名 *Viola raddeana* Regel

目名

目名学名

科名 スミレ科

科名学名 Violaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

日本での分布域がごく狭い。本県でも「九重火山群」だけに生育している。生育地の火山性草原が牧草地や植林地に改変され、消滅の危険性が極めて高い。

県内分布	九重火山群
分布域	北海道,本州(関東地方),九州(大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島,中国(東北部),アムール,ウスリー
生育環境	低山地の湿地。
現 状	生育地が人工牧野となって消滅した所がある。
備 考	大陸系遺存植物。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]

ヒメアギスミレ

学名 *Viola verecunda* A. Gray var. *subaequiloba* (Franch. et Savat.) F. Maekawa

目名

目名学名

科名 スミレ科

科名学名 Violaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

愛知県以西の西日本に分布する。本県での生育地は北部・西部地域に点在し、湿地の限られた狭い範囲に生育している。土地開発により生育環境が改変され、生育地の消滅が懸念される。

県内分布	中津・宇佐低地, 日田低地・丘陵地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低地から山地の湿地。
現 状	湿地開発事業により生育地が改変され, 消滅した所がある。
備 考	種としては北方寒冷地要素の植物。

ヒカゲスミレ

学名 *Viola yezoensis* Maxim.

目名

目名学名

科名 スミレ科

科名学名 Violaceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

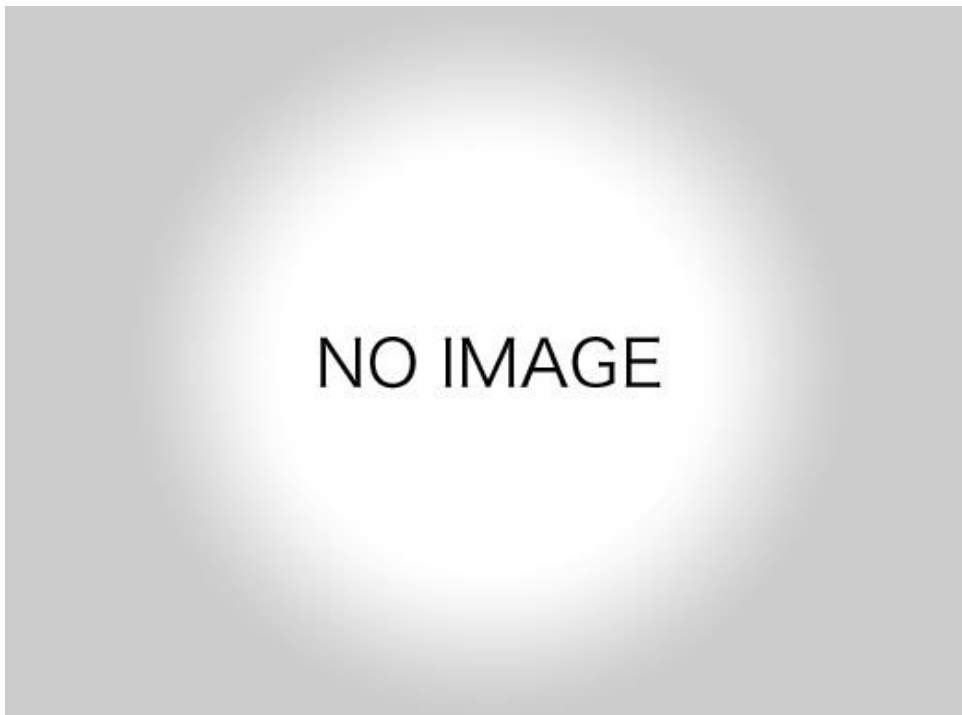
[選定理由]

県内では北部・西部・南部地域に点在し、生育地は希で個体数も少ない。植生の遷移や森林伐採による生育環境の悪化で、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 英彦山・犬ヶ岳山地, 九重火山群, 大野川上流域, 北川上流域
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	丘陵地から山地の林内。
現 状	森林伐採による生育環境の変化で消滅した所がある。
備 考	

ハチジョウキブシ(ナガバキブシ)

学名	Stachyurus himalaicus Hook. fil. et Thoms. ex Benth. subsp. macrocarpus (Koidzumi) Hatusima		
目名			
目名学名			
科名	キブシ科		
科名学名	Stachyuraceae		
カテゴリー	大分県: II (VU)	環境省: I A (CR)	



[選定理由]

九州では大分県と宮崎県に分布する。県内では「豊後水道域」を中心に佐賀関以東海岸沿い一帯に主として分布している。森林伐採、土木工事等の影響で群生地減少の危険性が懸念される。

県内分布	豊後水道域, 豊後水道後背地域
分布域	本州(関東地方, 伊豆半島, 近畿地方及び八丈島を含む伊豆諸島), 四国, 九州(大分・宮崎)の太平洋側
世界的分布	
生育環境	海岸低地や丘陵地。
現状	「豊後水道域」, 海岸に近い「豊後水道後背地域」に群生しており, しばしば道路工事で伐採されている。
備考	

オニシバリ

学名 *Daphne pseudo-mezereum* A. Gray

目名

目名学名

科名 ジンチョウゲ科

科名学名 Thymelaeaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地が点在し、個体数も少ない。小低木のため植生遷移の進行により、生育環境の悪化が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 中津・宇佐低地, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地, 豊後水道後背地域, 石灰岩地域, 大野川上流域
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	丘陵地の林内。石灰岩地。
現状	植生遷移が進んで絶滅した生育地があり、個体数も減る傾向にある。
備考	

ミヤマガンピ

学名 *Wikstroemia albiflora* Yatabe

目名

目名学名

科名 ジンチョウゲ科

科名学名 Thymelaeaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし



【選定理由】

山地の稜線上の岩角地に生育する。個体数は少ない。岩場の植生遷移の進行や林道開発により、生育地の消滅が懸念される。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地, 祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	本州(紀伊半島), 四国, 九州(大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	山地の尾根や岩角地。
現 状	生育地の植生遷移の進行で生育の衰退した所がみられる。
備 考	ソハヤキ系植物。

シマサクラガンピ

学名 *Wikstroemia pauciflora* Franch. et Savat. var. *yakushimensis* Makino

目名

目名学名

科名 ジンチョウゲ科

科名学名 Thymelaeaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

九州の太平洋側に多く分布する。本県では低山地や山地の岩上や崖地に生育する。森林の伐採や林道開発で、生育地の消滅が懸念される。

県内分布	豊後水道後背地域, 大野川上流域, 祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低山地の岩角地や崖。
現状	しばしば群生することがある。
備考	「北川上流域」では「ヒノウ」と呼び, 昔は和紙の原料とされた。

キガンピ

学名 *Wikstroemia trichotoma* (Thunb.) Makino

目名

目名学名

科名 ジンチョウゲ科

科名学名 Thymelaeaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

生育地は点在し、個体数は極めて少ない。森林伐採や植生遷移の進行などにより消滅した生育地があり、絶滅の危険性は高い。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, (豊後水道後背地域), 祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	本州(近畿地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島
生育環境	丘陵地から低山地の林内。
現 状	森林が発達すると衰退する傾向があり, 消滅寸前の生育地がみられる。「豊後水道後背地域」の標本はあるが, その生育地は把握されていない。
備 考	

ミズキカシグサ

学名 *Rotala leptopetala* (Bl.) Koehne var. *littorea* (Miq.) Koehne

目名

目名学名

科名 ミソハギ科

科名学名 Lythraceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

水田や湿地に生える1年草で、生育環境によって生育状態の消長が著しい。生育環境の変化や水田の圃場整備で、生育地の消滅が懸念される。

県内分布	姫島・国東海岸,別府湾沿岸域
分布域	本州,四国,九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島),沖縄
世界的分布	朝鮮半島
生育環境	低地の水田や湿地。
現 状	圃場整備事業で生育地の消滅した所がある。
備 考	

ミズマツバ

学名 *Rotala pusilla* Tulasne

目名

目名学名

科名 ミソハギ科

科名学名 Lythraceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は点在する。小さい1年草で、水田などの耕作地に生えるため、生育環境が不安定である。生育環境の変化で、生育地の消滅が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 中津・宇佐低地, 別府湾沿岸域, 豊後水道域, 豊後水道後背地域, 大野川上流域
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	世界暖帯～熱帯
生育環境	低地や丘陵地の水田や湿地。
現 状	生育地は水田及び周辺の湿地のため, 持続して生育しているかどうか把握できていない所が多い。
備 考	

ヒメノボタン

学名 *Osbeckia chinensis* L.

目名

目名学名

科名 ノボタン科

科名学名 Melastomataceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(別府湾沿岸域), (豊後水道域)
分布域	本州(和歌山), 四国, 九州(佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	台湾, 中国, インド, マレーシア, オーストラリア
生育環境	丘陵地から低山地の林縁。
現 状	「別府湾沿岸域」, 「豊後水道域」から採集された標本はあるが, その後, 生育状況は不明。
備 考	

ウシタキソウ

学名 *Circaea cordata* Royle.

目名

目名学名

科名 アカバナ科

科名学名 Onagraceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

県内各地に記録がある。林内や林縁に生育するため、植林や伐採、草刈りなどにより、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	(豊後水道域), (豊後水道後背地域), (耶馬溪地区), 大分川・大野川丘陵地, (大野川上流域), 英彦山・犬ヶ岳山地, 九重火山群, 由布鶴見火山群, 石灰岩地域
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・長崎・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	台湾, 朝鮮半島, 中国東北部, ウスリー中国, ヒマラヤ
生育環境	丘陵地の林内や林縁。
現 状	県内各地の標本があり, 持続して生育していると思われる。2010年, 新たに「由布鶴見火山群」での生育地が把握された。
備 考	

イワアカバナ

学名 *Epilobium cephalostigma* Hausskn.

目名

目名学名

科名 アカバナ科

科名学名 Onagraceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

本県は分布の南限域にあたる。生育地は希で、個体数も少ない。溪谷沿いや林縁に生育しているため、植生の遷移の影響を受けて消滅した所もあり、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地
分布域	北海道, 本州, 九州(大分)
世界的分布	中国, 中国(東北部), 樺太, 南千島
生育環境	低山地や山地の溪谷沿いの岩場や林縁。
現 状	生育地はいずれも崖崩れや植生遷移の進行で、生育状態が安定していない。
備 考	

ケナシワアカバナ

学名 *Epilobium cephalostigma* Hausskn.var. *nudicarpum*(Komarov) Hara

目名

目名学名

科名 アカバナ科

科名学名 Onagraceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

本県は分布の南限域にあたる。生育地は希で、個体数も少ない。溪谷沿いや林縁に生育しているため、植生の遷移の影響を受けて消滅した所もあり、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	大分川・大野川丘陵地
分布域	北海道,本州,九州(大分)
世界的分布	中国,中国(東北部),樺太,南千島
生育環境	低山地や山地の溪谷沿いの岩場や林縁。
現 状	生育地はいずれも崖崩れや植生遷移の進行で、生育状態が安定していない。
備 考	

ヒメビシ

学名 *Trapa incisa* Sieb. et Zucc.

目名

目名学名

科名 アカバナ科

科名学名 Onagraceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)

NO IMAGE

[選定理由]

生育するため池は少なく、水環境の悪化や池内の他の水生植物との競合や虫害を受け、生育状態に消長がみられ、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	耶馬溪地区, 中津・宇佐低地, 日田低地・丘陵地
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	低地のため池。
現 状	生育するため池の水環境の悪化, 生育する水草との競合や虫害で, 消滅寸前の生育地がある。
備 考	

夕チモ

学名 *Myriophyllum ussuriense* (Regel) Maxim.

目名

目名学名

科名 アリノウグサ科

科名学名 Haloragaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：準 (NT)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(中津・宇佐低地)
分布域	北海道,本州,四国,九州(福岡・大分)
世界的分布	朝鮮半島,台湾,中国(東北部),ウスリー,アムール
生育環境	低地のため池。
現 状	「中津・宇佐低地」で採集された標本はあるが、その後生育地の状況が変わり、その生育は把握されていない。
備 考	

フサモ

学名 *Myriophyllum verticillatum* L.

目名

目名学名

科名 アリノウグサ科

科名学名 Haloragaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は点在して少ない。最近、水質汚濁で水環境が悪化し、生育が把握されない生育地が生じている。生育環境の悪化で、生育地の消滅が懸念される。

県内分布	中津・宇佐低地, 日田低地・丘陵地, 由布・鶴見火山群, 大野川上流域
分布域	北海道(西南部), 本州, 四国, 九州(佐賀・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	北半球温帯
生育環境	低地や丘陵地の池沼。
現 状	いずれの生育地も植生遷移の進行で、生育状態が安定していない。
備 考	

ウラジロウコギ

学名 *Eleutherococcus hypoleucus* (Makino) Nakai

目名

目名学名

科名 ウコギ科

科名学名 Araliaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

全国的にも分布域が点在し、本県での生育地はごく希で、個体数も少ない。生育地は溪谷沿いや登山路沿いのため、流失や伐採などにより、絶滅の危険性が高い。

県内分布	祖母・傾山地
分布域	四国,九州(熊本・大分)
世界的分布	
生育環境	低山地の溪谷沿い林内。
現 状	確認された生育地は希であるが、同様な環境には、他に生育地があるものと思われる。
備 考	九州の生育地は、分布の南限域にあたる。

ミヤマウコギ

学名 *Eleutherococcus trichodon* (Franch. et Savat.) Ohashi

目名

目名学名

科名 ウコギ科

科名学名 Araliaceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地が限られており、個体数も少ない。低木のため森林伐採や植生遷移の進行で生育環境が変化し、生育地の消滅が懸念される。

県内分布	九重火山群
分布域	本州(関東・中部・近畿地方,太平洋側),九州(大分)
世界的分布	
生育環境	低山地の谷沿いの林縁や林内。
現 状	生育地は「九重火山群」に限られ、登山路沿いのものは伐採された所がある。
備 考	

シラハノダケ

学名 *Angelica cartilaginomarginata* (Makino) Nakai var. *matsumurae* (H. Boiss.) Kitagawa

目名

目名学名

科名 セリ科

科名学名 Umbelliferae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

分布域が狭く、主として火山地域の草原に生える。生育地、個体数ともに僅少。草原の開発、野焼きの停止などで消滅した生育地があり、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地
分布域	四国,九州(大分・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島,中国(東北部)
生育環境	丘陵地や低山地の草原。
現状	生育地は点在し,個体数も僅少。草原開発や植生遷移の進行などで消滅した所がある。
備考	ヒメノダケ(<i>Angelica cartilaginomarginata</i>)と類似している。大陸系遺存植物。九州は分布の南限域にあたる。

ミヤマノダケ

学名 *Angelica cryptotaeniaefolia* Kitagawa

目名

目名学名

科名 セリ科

科名学名 Umbelliferae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

県内では以前、丘陵地や低山地の草原にみられた。2006年に「北川上流域」の新たな生育地が確認されたが、個体数が少なく、道路工事などによる生育地の減少が懸念される。

県内分布	祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	四国,九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	丘陵地の林縁。
現 状	2005年, 新たに「北川上流域」で確認されたが, 個体数は10本以下。
備 考	

ヒュウガトウキ

学名 *Angelica furcijuga* Kitagawa

目名

目名学名

科名 セリ科

科名学名 Umbelliferae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)



【選定理由】

「豊後水道域」とその背後地の路傍や岩場には比較的多くみられるが、大分と宮崎に分布域が限定される。道路工事や剥ぎ取り、崖の吹付工事などにより、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	豊後水道域, 豊後水道後背地域
分布域	九州(大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	海岸, 丘陵地の路傍や崖。
現状	最近, 道路工事により激減した所がある。
備考	

オニノダケ

学名 *Angelica gigas* Nakai

目名

目名学名

科名 セリ科

科名学名 Umbelliferae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(祖母・傾山地)
分布域	九州(大分・宮崎)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部)
生育環境	低山地の林縁や湿った河岸。
現 状	「祖母・傾山地」の標本はあるが, その生育地は把握されていない。
備 考	大陸系遺存植物。九州は, 分布の南限域にあたる。

ハナビゼリ

学名 *Angelica inaequalis* Maxim.

目名

目名学名

科名 セリ科

科名学名 Umbelliferae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

生育地が点在し、個体数も極めて少ない。渓谷沿いに生育するため、台風などの出水で流失したり埋没したりして、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地, 九重火山群,
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低山地の渓谷林縁。
現 状	出水で流失した生育地がある。また, 谷沿いの環境変化により消滅した所もみられる。
備 考	

ツクシゼリ

学名 *Angelica longeradiata* (Maxim.) Kitagawa

目名

目名学名

科名 セリ科

科名学名 Umbelliferae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

兵庫以西の西日本に分布域が限られている。県内でも北部・西部・中部地域に偏在している。植生の遷移や登山者の踏圧により、生育環境が悪くなった生育地が生じている。

県内分布	国東地区, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地, 祖母・傾山地,
分布域	本州(岡山:蒜山), 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	丘陵地から山地の草原。
現状	植生の遷移や植林, 登山者の踏圧により, 生育環境が悪化した所がある。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]

ツクシトウキ

学名 *Angelica pseudo-shikokiana* Kitagawa

目名

目名学名

科名 セリ科

科名学名 Umbelliferae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(豊後)
分布域	九州(佐賀・長崎・大分)
世界的分布	
生育環境	
現 状	「豊後」の標本(1938)を基に記載されたが、その生育地は把握されていない。
備 考	基準標本産地[豊後]

イヌトウキ

学名 *Angelica shikokiana* Makino ex Yabe

目名

目名学名

科名 セリ科

科名学名 Umbelliferae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(英彦山・犬ヶ岳山地)
分布域	四国,九州(熊本・大分・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や低山地の林縁。
現 状	「英彦山・犬ヶ岳山地」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。
備 考	

ウバタケニンジン

学名 *Angelica ubatakensis* (Makino) Kitagawa

目名

目名学名

科名 セリ科

科名学名 Umbelliferae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: II (VU)

NO IMAGE

【選定理由】

分布域は狭い。本県でも生育地は局限し、個体数は極めて少ない。人による採取や踏みつけで、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	祖母・傾山地,(北川上流域)
分布域	四国,九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	低山地や山地の岩場。
現状	「祖母・傾山地」の尾根筋の岩の割れ目に生育しているが、個体数も少なく、場所によっては減少傾向がみられる。「北川上流域」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。
備考	ソハヤキ要素の植物。基準標本産地[嫗嶽(祖母山)]。国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 祖母傾]

ミシマサイコ

学名 *Bupleurum falcatum* L. var. *komarovi* Koso-Polj.

目名

目名学名

科名 セリ科

科名学名 Umbelliferae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

県内では北部・西部・中部地域に散在する。植林や野焼きの停止などで植生遷移が進行し、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 姫島・国東海岸, 玖珠丘陵地・山地, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域, 大分川・大野川丘陵地, 豊後水道後背地域
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低地や丘陵地の草原。
現状	植生遷移の進行により, 生育状態が衰退した生育地がある。
備考	

ドクゼリ

学名 *Cicuta virosa* L. var. *nipponica* (Franch.) Makino

目名

目名学名

科名 セリ科

科名学名 Umbelliferae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(耶馬溪地区)
分布域	北海道,本州,九州(佐賀・熊本・大分)
世界的分布	朝鮮半島,中国(東北部～北部),極東地方,ヨーロッパ,シベリア,北米
生育環境	
現 状	「耶馬溪地区」で採集された標本(1929)はあるが,その生育地は把握されていない。
備 考	

シラカワボウフウ

学名 *Peucedanum terebinthaceum* (Fisch.) Fisch. ex DC. var. *deltoideum* (Makino) Makino

目名

目名学名

科名 セリ科

科名学名 Umbelliferae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

分布の南限域にあたる。本県の生育地は狭くて点在し、個体数も少ない。主として火山性高原に生育する。植林や草原開発などで消滅した生育地があり、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	玖珠丘陵地・山地, 九重火山群
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	中国(東北部), 朝鮮半島, ウスリー, アムール, 東シベリア
生育環境	丘陵地や低山地の草原や林縁。
現 状	生育地が草原開発で消滅したり, 植林されて植生が変わったりして, 消滅した生育地が多い。
備 考	北方寒冷地要素の植物で, 九州は分布の南限域にあたる。

ミツバグサ

学名 *Pimpinella diversifolia* DC.

目名

目名学名

科名 セリ科

科名学名 Umbelliferae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

日本では九州にだけ分布する。本県では、火山地帯の草原に良好な生育地が多いが、生育地一帯の植生遷移の進行や人工草地改変などによる環境変化で、生育地の消滅が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域, 豊後水道後背地域, 大野川上流域, 祖母・傾山地
分布域	九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	中国, 台湾, インド(北部)
生育環境	低地から山地の草地や林縁。
現状	かつて放牧されていた生育地が植林や植生遷移の進行で森林化し, 消滅したり, 生育状態の衰退した所がみられる。
備考	本県特産種のツクシボウフウ (<i>P.thellungiana</i>) と近縁である。

ツクシボウフウ

学名 *Pimpinella thellungiana* H. Wolff var. *gustavohegiana* (Koidzumi) Kitamura

目名

目名学名

科名 セリ科

科名学名 Umbelliferae

カテゴリー 大分県：ⅠA(CR) 環境省：Ⅱ(VU)



[選定理由]

火山性高原の草原を生育地とする。生育地は草地開発や土地開発などが進み、さらに植林や植生遷移の進行により生育地が減少して、絶滅の危険性が極めて高くなっている。

県内分布	九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地
分布域	九州(大分)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や低山地の草原や林縁。
現状	生育地の草原が各種開発で改変され、植林や路辺の草刈りなどで各地の生育地が著しく消滅している。
備考	大分県特産種。基準標本産地[九重町三俣山] 母種(コウアンボウフウ)は、東シベリア、アムール、ウスリーなどに分布している。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]

シムラニンジン

学名 *Pterygopleurum neurophyllum* (Maxim.) Kitagawa

目名

目名学名

科名 セリ科

科名学名 Umbelliferae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)

NO IMAGE

[選定理由]

分布域が狭く、県内の生育地は点在し、個体数は少ない。生育地が火山性高原のため、各種の開発、植林、野焼きの停止による植生遷移の進行などもあって、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群
分布域	本州(関東南部), 九州(熊本・大分・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島
生育環境	丘陵地や低山地のやや湿った草原。
現 状	生育地の草原が改変され、植林などで植生が変化し、生育地が著しく減少している。
備 考	基準標本産地[久住町久住山]

フキヤミツバ

学名 *Sanicula tuberculata* Maxim.

目名

目名学名

科名 セリ科

科名学名 Umbelliferae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：I B (EN)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(九重火山群)
分布域	本州(中部地方以西),四国,九州(熊本・大分)
世界的分布	朝鮮半島
生育環境	低山地や山地の谷沿いの林内。
現状	本州中部以西, 四国と朝鮮に分布し, 九州では「九重火山群」に隔離分布し, その南限地にあたる。植生遷移の進行による生育環境の変化に伴って衰退したが, 現存している可能性がある。
備考	

サワゼリ

学名 *Sium suave* Walt. var. *nipponicum* (Maxim.) Hara

目名

目名学名

科名 セリ科

科名学名 Umbelliferae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(九重火山群)
分布域	北海道,本州,四国,九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	朝鮮半島
生育環境	低山地の湿地。
現 状	「九重火山群」に局限して生育していたが、土地開発により改変され、その生育地は把握されていない。
備 考	

カノツメソウ

学名 *Spuriopimpinella calycina* (Maxim.) Kitagawa

目名

目名学名

科名 セリ科

科名学名 Umbelliferae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

九州では本県に分布している。生育する範囲は狭く個体数も少ない。植生遷移の進行による変化や林縁の手入れなどで、絶滅の危険性が高い。

県内分布	九重火山群, 由布・鶴見火山群
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(大分)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や低山地の湿った林内や林縁。
現 状	「由布・鶴見火山群」では, 生育環境が悪化して消滅した生育地がある。
備 考	基準標本産地[久住町久住山]。本県は分布の南限域にあたる。

イワカガミ

学名 *Shortia soldanelloides* (Sieb. et Zucc.) Makino

目名

目名学名

科名 イワウメ科

科名学名 Diapensiaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし



【選定理由】

主として、火山山頂帯の岩場を生育地とする。矮小な植物のため、植生の遷移による環境の変化に影響される。また、登山者の踏みつけや人による採取で減少が懸念される。

県内分布	九重火山群, 由布・鶴見火山群, 祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	北海道(西部), 本州, 四国, 九州(佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	火山山頂帯の岩場。
現 状	火山山頂帯の岩場では、登山者による踏みつけや採取などで被害地が多く、生育地の減少が生じている
備 考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 祖母傾]

ウメガサソウ

学名 *Chimaphila japonica* Miq.

目名

目名学名

科名 イチヤクソウ科

科名学名 Pyrolaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし



[選定理由]

県内での生育地は散在するが、個体数は少ない。主に林縁に生育するため、植生の遷移による変化で、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域, 石灰岩地域, 大野川上流域, 祖母・傾山地
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	樺太, 南千島, 朝鮮半島, 中国(東北部), 中国
生育環境	低地から低山地の林縁。
現状	生育環境が変化して消滅した生育地がある。また、人による採取もみられる。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]

マルバノイチヤクソウ

学名 *Pyrola nephrophylla* (H. Andr.) H. Andr.

目名

目名学名

科名 イチヤクソウ科

科名学名 Pyrolaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

九州での分布域は狭い。本県では、山地の林内に希に生育し、個体数は僅少。森林伐採による環境変化や人による採取などが懸念される。

県内分布	(英彦山・犬ヶ岳山地), 玖珠丘陵地・山地, 祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(大分・宮崎)
世界的分布	南千島
生育環境	山地の林内。
現状	「英彦山・犬ヶ岳山地」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。
備考	北方寒冷地要素の植物で、九州は南限域。国立・国定公園指定植物[瀬戸内海, 耶馬日田英彦山]

ツクシドウダン

学名 *Enkianthus campanulatus* (Miq.) Nichols. var. *longilobus* (Nakai) Makino

目名

目名学名

科名 ツツジ科

科名学名 Ericaceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 掲載なし



【選定理由】

分布域は九州に限られている。本県では山頂帯や尾根の岩場に生育するが、生育範囲は狭い。低木のため植生遷移の進行による環境変化や人による採取で、生育地の減少が懸念される

県内分布	九重火山群, 祖母・傾山地
分布域	九州(大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低山地や山地の林内。
現 状	生育地は主として「九重火山群」や「祖母・傾山地」の山頂帯の岩場では、登山者による踏みつけや採取などの被害が生じた所がある。
備 考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]

ヨウラクツツジ

学名 *Menziesia purpurea* Maxim.

目名

目名学名

科名 ツツジ科

科名学名 Ericaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)

NO IMAGE

【選定理由】

分布域は狭く、九州の山地に生育する。本県での生育地は点在し、個体数も少ない。森林伐採や人による採取により、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	九重火山群, 祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	山地の岩角地。
現 状	人による採取で減少した所がある。
備 考	九州特産種。国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 祖母傾]

ツクシシャクナゲ

学名 *Rhododendron degronianum* Carr. subsp. *heptamerum* (Maxim.) Hara

目名

目名学名

科名 ツツジ科

科名学名 Ericaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

岩石の多い林内に生育し、個体数はかなりみられる。庭木や盆栽として幼木から成木まで採取の対象となり、生育地や個体数の減少が懸念される。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 豊後水道後背地域, 大野川上流域, 祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	本州(中部地方西部以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	丘陵地から山地の岩の堆積した林内。
現状	比較的人の立ち入りやすい「九重火山群」, 「津江山地」の一部では, 盗掘跡をみかけることがある。
備考	国指定天然記念物「犬ヶ岳のツクシシャクナゲ自生地」(耶馬溪町), 県指定天然記念物「鹿嵐山のツクシシャクナゲ群落」(院内町), 国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]

レンゲツツジ

学名 *Rhododendron japonicum* (A. Gray) Suringer

目名

目名学名

科名 ツツジ科

科名学名 Ericaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

全国的に分布域が限られている。本県の生育地は西部地域に偏在し、個体数は少ない。草地改良や植林などにより生育地は縮小し、人による採取もあって消滅した生育地があり、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	耶馬溪地区, 英彦山・犬ヶ岳山地, 日田低地・丘陵地, 玖珠丘陵地・山地
分布域	北海道(西南部), 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	丘陵地の草原や湿地, 林縁。
現 状	草地改良による土地の改変や人による採取などで消滅した所がある。
備 考	国立・国定公園指定植物[瀬戸内海, 耶馬日田英彦山]。県指定天然記念物「清田川のレンゲツツジ群落」(玖珠町)

ヒカゲツツジ

学名 *Rhododendron keiskei* Miq.

目名

目名学名

科名 ツツジ科

科名学名 Ericaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

岩場の林内という特異な環境に生育していて、生育地、個体数ともに少ない。人による採取で、個体数の減少が懸念される。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 豊後水道後背地域, 大野川上流域, 祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	本州(関東以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低山地や山地の岩場。
現状	生育環境が厳しく、自然増殖の可能性は極めて低い。個体数は徐々に減少する傾向にある。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 耶馬日田英彦山, 日豊海岸, 祖母傾]

ミヤマキリシマ

学名 *Rhododendron kiusianum* Makino

目名

目名学名

科名 ツツジ科

科名学名 Ericaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

分布域は九州の火山山頂帯に限られ、本県でも火山山頂帯の風衝地に生育して群落をつくる。自然災害や虫害もみられるが、植生遷移の進行による環境変化が生育に影響する。また、登山者の踏みつけや人による採取などでその減少が懸念される。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 祖母・傾山地
分布域	九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	丘陵地の尾根から火山山頂帯の風衝地。
現状	群生地では登山者の踏みつけや人による採取の被害個所が各所にみられる。
備考	国指定天然記念物「大船山のミヤマキリシマ群落」(久住町), 県指定天然記念物「経塚山ミヤマキリシマ自生地」(日出町), 国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]

ナンゴクミツバツツジ

学名 *Rhododendron mayebarae* Nakai et Hara

目名

目名学名

科名 ツツジ科

科名学名 Ericaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)

NO IMAGE

[選定理由]

分布域は九州に限られ、県内の生育地も点在し、個体数は少ない。森林伐採や人の採取により、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	豊後水道後背地域, (祖母・傾山地), (北川上流域)
分布域	九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	丘陵地から山地の岩場。
現 状	「祖母・傾山地」, 「北川上流域」で採集された標本はあるが、その後生育地は確認されていない。
備 考	九州特産種。この種類には類似したものが多い。国定公園指定植物[祖母傾]

カラムラサキツツジ

学名 *Rhododendron mucronulatum* Turcz.

目名

目名学名

科名 ツツジ科

科名学名 Ericaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：準(NT)

NO IMAGE

【選定理由】

主として県北部地方の火山岩の岩場に生えるが、分布はかなり広く、個体数も少なくない。河川ダム工事などで改変され消失した生育地もあり、人による採取もあって、その減少が懸念される。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 英彦山・犬ヶ岳山地, 玖珠丘陵地・山地, 別府湾沿岸域, 大分川・大野川丘陵地
分布域	本州(中国),九州(福岡・長崎・熊本・大分)
世界的分布	中国(東北部),朝鮮半島,中国(北部),ウスリー
生育環境	低地から山地の岩場。
現状	河川ダム工事で改変され,消滅した生育地があり,人里近い所では人により採取されている。
備考	ゲンカイツツジ(<i>f. ciliatum</i>)を含む。大陸系遺存植物。九州は分布の南限域にあたる。県指定天然記念物「ゲンカイツツジ」(耶馬溪町)。国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 耶馬日田英彦山]

ツクシアケボノツツジ

学名 Rhododendron pentaphyllum Maxim.

目名

目名学名

科名 ツツジ科

科名学名 Ericaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：準(NT)



[選定理由]

本県は分布の北限域にあたる。生育地は狭いが、かなりの個体数が生育している。人による採取や踏みつけなどによる生育地の減少が懸念される。

県内分布	祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	九州(大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	山地の尾根岩場や疎林内。
現 状	尾根筋にはかなりの個体が生育している。開花期(5月上・中旬)には登山者による損傷や採取がみられる。
備 考	九州特産種。

キシツツジ

学名 *Rhododendron ripense* Makino

目名

目名学名

科名 ツツジ科

科名学名 Ericaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし



【選定理由】

分布域が西南日本に限られている。本県では「耶馬溪地区」の河川流域の一部に生育しているだけで、個体数も極めて少ない。河川の洪水による流失や河岸改修などに加え、人による採取で、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	耶馬溪地区
分布域	本州(中国地方),四国,九州(大分)
世界的分布	
生育環境	低地の河岸。
現状	河川の洪水による流失や護岸工事, 河岸の森林化による生育環境の悪化, 人による採取などで生育地が著しく減少している。
備考	県天然記念物「キシツツジ」(耶馬溪町), 国定公園指定植物[耶馬日田英彦山]

コメツツジ

学名 *Rhododendron tschonoskii* Maxim.

目名

目名学名

科名 ツツジ科

科名学名 Ericaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は山地尾根の岩角地に限られ、個体数もごくわずかである。異常乾燥、植生遷移の進行などによって生育環境が悪化し、絶滅の危険性が高い。

県内分布	祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(熊本・大分)
世界的分布	朝鮮半島(南部)
生育環境	山地の尾根岩場。
現 状	生育地の環境の悪化で衰退した所がみられる。
備 考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 祖母傾]

ヒュウガミツバツツジ

学名 *Rhododendron viscistylum* Nakai var. *hyugaense* Yamazaki

目名

目名学名

科名 ツツジ科

科名学名 Ericaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

宮崎県を中心に分布する。本県では岩場に生えるが、生育範囲は狭く、個体数も多くない。人により観賞用に採取されることが多く、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	豊後水道後背地域, 北川上流域
分布域	四国,九州(佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	低地や丘陵地の岩場。
現 状	県内では最近,「豊後水道後背地域」や「北川上流域」で生育が確認され,分布域が広がっている。
備 考	「北川上流域」ではイワツツジと呼ばれている。

コケモモ

学名 *Vaccinium vitis-idaea* L. var. *minus* Lodd.

目名

目名学名

科名 ツツジ科

科名学名 Ericaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし



【選定理由】

北半球の高山帯、寒帯に分布し、九州では「九重火山群」の山頂帯だけに生育する。生育地は登山のメッカとされる地域で、登山者による踏みつけ、人による採取などで生育環境の悪化や減少が懸念される。

県内分布	九重火山群
分布域	北海道,本州,四国,九州(大分)
世界的分布	朝鮮半島,千島,樺太～北半球寒帯～高山帯
生育環境	火山山頂帯の風衝地。
現 状	生育地が山頂帯の風衝地で、風雨による侵食で自然崩壊している所がある。また、登山者による踏みつけの被害も大きく、人による採取の被害個所が各所にみられる。
備 考	国指定天然記念物「九重山のコケモモ群落」(久住町・九重町), 国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]

オオツルコウジ

学名 *Ardisia montana* (Miq.) Sieb. ex Franch. et Savat.

目名

目名学名

科名 ヤブコウジ科

科名学名 Myrsinaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: I B (EN)

NO IMAGE

【選定理由】

分布は局限されていて、個体数は極めて少ない。森林の伐採や林内の攪乱などで生育環境が悪化し、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	豊後水道域
分布域	本州(千葉以西,伊豆七島),九州(大分・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	海岸の崖地, 林内。。
現 状	県内では「豊後水道域」の島の崖地に生育しており, 個体数はごく僅少である。。
備 考	

ミヤマコナスビ

学名 *Lysimachia tanakae* Maxim.

目名

目名学名

科名 サクラソウ科

科名学名 Primulaceae

カテゴリー 大分県：準(N_T) 環境省：掲載なし

【選定理由】

県内では南部や西部に分布し、個体数はかなり多い。森林伐採や道路工事による環境変化で、生育地の減少が懸念される。

県内分布	津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 大分川・大野川丘陵地, 豊後水道後背地域, 大野川上流域, 祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	本州(紀伊半島), 四国(一部), 九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や低山地の林縁。
現状	生育状態の安定している所が比較的多い。
備考	ソハヤキ要素の植物。

オニコナスビ

学名 *Lysimachia tashiroi* Makino

目名

目名学名

科名 サクラソウ科

科名学名 Primulaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: I B (EN)

NO IMAGE

【選定理由】

分布域が限られており、生育地は少なく、個体数も多くない。いずれの生育地も沢沿いにあり、大雨による増水などの自然災害により、容易に生育地が絶滅する危険性が極めて高い。

県内分布	耶馬溪地区、(英彦山・犬ヶ岳山地)、(九重火山群)
分布域	九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や低山地の溪谷林縁。
現状	耶馬溪地区の数か所で生育を確認できたが、いずれの生育地も沢沿いにあり、個体数は多くない。
備考	基準標本産地[山国町荊又山]

クサレダマ

学名 *Lysimachia vulgaris* L. var. *davurica* (Ledeb.) R. Knuth

目名

目名学名

科名 サクラソウ科

科名学名 Primulaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし



[選定理由]

県内の生育地は希で、個体数も極めて少ない。植生遷移の進行による湿地環境の変化で生育状況が悪化し、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	九重火山群
分布域	北海道,本州,四国,九州(熊本・大分)
世界的分布	東亜温帯一帯
生育環境	丘陵地や低山地の湿地。
現 状	池沼陸化, 土地開発などで生育地の環境が変化して, 生育状態の衰退した所がある。
備 考	北方寒冷地要素の植物。九州は, 分布の南限域にあたる。

サクラソウ

学名 *Primula sieboldii* E. Morren

目名

目名学名

科名 サクラソウ科

科名学名 Primulaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省： 準 (NT)



【選定理由】

主として火山性高原の湿地に点在し、しばしば群生する。植林や野焼きの停止などで植生遷移が進行し、また、人による採取により、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群
分布域	北海道(南部), 本州, 四国, 九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部), アムール, ウスリー
生育環境	山野の丘陵地や低山地の湿地。
現 状	開花期は人目につきやすく、人による採取により減少したり消滅した生育地が多い。開花期に監視体制をとる生育地がある。
備 考	

ハマサジ

学名 *Limonium tetragonum* (Thunb.) A. A. Bullock

目名

目名学名

科名 イソマツ科

科名学名 Plumbaginaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：準 (NT)



[選定理由]

全国的に分布域は狭く、本県では河口付近の塩湿地に生育し、生育地、個体数ともに僅少である。河口付近の埋立や浚渫、河岸の護岸工事などで生育地が縮小し、その減少や消滅が懸念される。

県内分布	周防灘海岸, 姫島・国東海岸, 別府湾沿岸域, 豊後水道域
分布域	本州(宮城以南), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部)
生育環境	海岸や河口付近の塩湿地。
現 状	「別府湾沿岸域」の生育地では埋め立てや浚渫, 河川改修により生育地が縮小し, 消滅した所がみられる。
備 考	

ハクウンボク

学名 *Styrax obassia* Sieb. et Zucc.

目名

目名学名

科名 エゴノキ科

科名学名 *Styracaceae*

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

崩落しやすい谷沿いに生育し、個体数も多くない。生育地がスギ植林の適地にあるため、植林による生育地の消滅が懸念される。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 大分川・大野川丘陵地, 祖母・傾山地
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部), 中国
生育環境	低山地の溪谷沿いの林内や林縁。
現 状	以前, 確認された生育地で, 植林されて消滅した所がある。
備 考	

ナタオレノキ

学名 *Osmanthus insularis* Koidzumi

目名

目名学名

科名 モクセイ科

科名学名 Oleaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

県内では暖地の海岸林に希にみられる。個体数は極めて少ない。道路沿いに生育しており、道路整備や拡張などで絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	豊後水道域
分布域	本州(福井以西,八丈島),四国,九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	韓国(巨文島),台湾
生育環境	海岸近くの林縁。
現状	生育地は道路沿いの林縁で、多くの危険要因をかかえている。
備考	

ミツガシワ

学名 *Menyanthes trifoliata* L.

目名

目名学名

科名 リンドウ科

科名学名 Gentianaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

極地周辺に広く分布し、西南日本では点在する。県内での生育地は極めて希で、個体数も少ない。貧栄養の池沼に生育するが、上辺から流入する水量の減少、あるいは富栄養水の流入による植生変化などにより生育環境が悪化し、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	玖珠丘陵地・山地, 九重火山群
分布域	北海道, 本州, 九州(福岡・佐賀・大分)
世界的分布	北半球寒地一帯
生育環境	丘陵地の湿原。
現 状	いずれの生育地も年々環境が悪化しており、早急な対応が必要である。
備 考	熊本県の生育地が明治後期に消滅し、本県の生育地は南限地。県指定天然記念物「野平のミツガシワ自生地」(玖珠町)。国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 耶馬日田英彦山, 日豊海岸]。

ヒメシロアサザ

学名 *Nymphoides coreana* (Lév.) Hara

目名

目名学名

科名 リンドウ科

科名学名 Gentianaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(中津・宇佐低地), (豊後水道後背地域)
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部), 中国
生育環境	低地の沼や川。
現状	「中津・宇佐低地」はため池の植生の遷移で, 「豊後水道後背地域」は河川工事で消失した模様で, その生育は把握されていない。
備考	

ガガブタ

学名 *Nymphoides indica* (L.) O. Kuntze

目名

目名学名

科名 リンドウ科

科名学名 Gentianaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：準 (NT)



[選定理由]

県内での生育地は北部地域の池沼に偏在する。池沼の開発や水質汚濁で生育地の消滅が懸念される。

県内分布	中津・宇佐低地
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部), 台湾, 中国～東南アジア, オーストラリア, アフリカ
生育環境	低地の池沼や水溝。
現 状	池の水が富栄養化し消滅した所がある。また, 池沼の水生植物の競合で, 生育状態に消長がみられる。
備 考	

アサザ

学名 *Nymphoides peltata* (Gmel.) O. Kuntze

目名

目名学名

科名 リンドウ科

科名学名 Gentianaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省： 準 (NT)



[選定理由]

県内の生育地は極めて希。池沼開発や水質汚濁で生育環境が悪化し、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	中津・宇佐低地, 豊後水道後背地域
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 台湾, 中国, 旧世界温帯一般
生育環境	低地の池沼。
現 状	水質汚染や虫害で生育状態の悪化した所がみられる。
備 考	

イヌセンブリ

学名 *Swertia diluta* (Turcz.) Benth. et Hook. var. *tosaensis* (Makino) Hara

目名

目名学名

科名 リンドウ科

科名学名 Gentianaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

県内では北部・西部・中部地域の湿地に散在するが、個体数は少ない。湿地開発や植生遷移の進行などにより生育環境が悪化し、その減少や消滅が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 中津・宇佐低地, 姫島・国東海岸, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低地や丘陵地の湿地。
現状	湿地周辺地の植生の遷移で消滅した所がある。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 耶馬日田英彦山]

センブリ

学名 *Swertia japonica* (Schult.) Makino

目名

目名学名

科名 リンドウ科

科名学名 Gentianaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内の生育範囲はかなり広く、個体数もかなり多い。短草のため、生育地の植生遷移の進行により衰退した所が多く、また、薬用として採取されて、その減少が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 姫島・国東海岸, 英彦山・犬ヶ岳山地, 中津・宇佐低地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地, 豊後水道域, 豊後水道後背地域, 大野川上流域, 北川上流域
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	朝鮮半島, 中国
生育環境	低地や丘陵地の草地や林縁。
現状	薬用として採取され, 生育地で消滅した所が多くなっている。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]

ムラサキセンブリ

学名 *Swertia pseudochinensis* Hara

目名

目名学名

科名 リンドウ科

科名学名 Gentianaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：準 (NT)



[選定理由]

県内での生育地は散在するが、個体数は少ない。草地開発による生育環境の改変や植林、植生遷移の進行により、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	九重火山群, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域, 大分川・大野川丘陵地, 豊後水道後背地域, 大野川上流域, 祖母・傾山地
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(北部), 中国(東北部), アムール
生育環境	丘陵地や低山地の草原。
現状	多くは火山性高原の草原の風衝地に生育する。草原の人工草地化で消滅した所がある。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 耶馬日田英彦山, 日豊海岸, 祖母傾]

シノメソウ

学名 Swertia swertopsis Makino

目名

目名学名

科名 リンドウ科

科名学名 Gentianaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

伊豆半島以西に分布域が限られている。本県では主として県南地域に分布するが、個体数は少ない。植生遷移の進行や森林伐採による環境の変化で、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大野川上流域, 祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	本州(伊豆半島以西), 四国, 九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	丘陵地から山地のやや湿った林縁や林内。
現状	森林伐採による環境の変化で減少した所や, 林道の工事で生育環境が改変され消滅した所がある。
備考	ソハヤキ要素の植物。国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]

チョウジソウ

学名 *Amsonia elliptica* (Thunb.) Roem. et Schult.

目名

目名学名

科名 キョウチクトウ科

科名学名 Apocynaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 準 (NT)

NO IMAGE

[選定理由]

九州での分布域は極めて狭い。本県の生育地は極めて希で、生育範囲が狭く、個体数も少ない。植生遷移の進行による影響を受けやすく、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	由布・鶴見火山群
分布域	北海道,本州,九州(福岡・大分)
世界的分布	朝鮮半島,中国
生育環境	丘陵地の水湿地。
現 状	生育地は観光地に接しているため、採取される危険性もある。
備 考	

アオカモメヅル

学名 *Cynanchum ambiguum* (Maxim.) Matsumura

目名

目名学名

科名 ガガイモ科

科名学名 Asclepiadaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

分布域が狭く、県内の生育地はごく希で、個体数も少ない。閉鎖された池畔に生育するため、水位の増減により生育状態に消長がみられる。生育環境の悪化し、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	九重火山群
分布域	本州(紀伊半島), 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	低山地の池畔。
現 状	生育地は極めて希で、個体数も少ない。把握された生育地は年により池の水位の変化が著しく、生育状態の衰退した所がみられる。
備 考	

ロクオンソウ

学名 *Cynanchum amplexicaule* (Sieb. et Zucc.) Hemsl.

目名

目名学名

科名 ガガイモ科

科名学名 Asclepiadaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

東北、四国の一部と九州に分布し、本県での生育地は極めて少ない。湿地周辺や草原に生育し、土地開発や植生遷移の進行により、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	別府湾沿岸域, 豊後水道域
分布域	本州, 四国, 九州(佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部), 蒙古, 中国
生育環境	低地の草地。
現状	いずれの生育地も狭い範囲に少数の個体が生育している。「別府湾沿岸域」のものは、他の地方からの客土由来によるものと思われる。
備考	異名: ヒゴビャクゼン

フナバラソウ

学名 *Cynanchum atratum* Bunge

目名

目名学名

科名 ガガイモ科

科名学名 Asclepiadaceae

カテゴリー 大分県：準 (NT) 環境省：II (VU)

NO IMAGE

【選定理由】

県内各地に分布しているが、生育地は限られている。個体数はどの生育地でも少ない。人の踏みつけ、採取などで消滅の危険性が懸念される。また、草原の減少でその生育環境の悪化も懸念される。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 大分川・大野川丘陵地, 豊後水道後背地域, 大野川上流域, 玖珠丘陵地・山地, 由布・鶴見火山群, 九重火山群
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州 (福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国東北部, 中国
生育環境	日当たりのよい丘陵地から山地の草原。
現 状	どの生育地でも, 個体数は減少の傾向にある。
備 考	

タチカモメヅル

学名 *Cynanchum nipponicum* Matsumura var. *glabrum* (Nakai) Hara

目名

目名学名

科名 ガガイモ科

科名学名 Asclepiadaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

主として火山性高原の湿地に生える。生育地は点在し、個体数も多くない。湿地の開発や生育環境の乾燥化で、生育地の減少や絶滅が懸念される。

県内分布	中津・宇佐低地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群
分布域	本州(近畿以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島
生育環境	低地から山地の湿地。
現 状	「九重火山群」の生育地では, 高原の土地開発で消滅した所がある。
備 考	

マルバカモメヅル

学名 *Cynanchum nipponicum* Matsumura var. *rotundifolium* (Honda) Murata

目名

目名学名

科名 ガガイモ科

科名学名 Asclepiadaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(九重火山群)
分布域	本州(広島),九州(熊本・大分)
世界的分布	
生育環境	低山地の湿地及び周辺地。
現 状	「九重火山群」で採集された標本はあるが、その生育地は把握されていない。
備 考	

スズサイコ

学名 *Cynanchum paniculatum* (Bunge) Kitagawa

目名

目名学名

科名 ガガイモ科

科名学名 Asclepiadaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：準(NT)

NO IMAGE

[選定理由]

県内の生育範囲はかなり広く、個体数もかなりみられる。草原に生育するため、高原の開発や、野焼きの停止で植生遷移の進行による影響が懸念される。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 中津・宇佐低地, 姫島・国東海岸, 日田低地・丘陵地, 津江山 地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域, 大分川・大野 川丘陵地
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部), 中国, ダブリア
生育環境	低地から低山地の草原。
現 状	人工牧野への改変や野焼きの中止により, 消滅したり, 生育状態が衰退した生育地が ある。
備 考	

オキナワシタキヅル

学名 *Stephanotis mucronata* (Blanco) Merr.

目名

目名学名

科名 ガガイモ科

科名学名 Asclepiadaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

県内では「豊後水道域」の常緑広葉樹林内に見られるつる植物。個体数は多くない。森林伐採，土木工事などの影響で生育環境の悪化が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 豊後水道域, 北川上流域
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	沿海地の林内や林縁。
現状	多くは島や岬を生育地とするが, 内陸部にも分布している。花をつける株は少ない。
備考	

ホウヨカモメヅル

学名 Vincetoxicum hoyoense T.Yamashiro

目名

目名学名

科名 ガガイモ科

科名学名 Asclepiadaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

本県では海岸の岩上や路傍の崖地などに生育し、生育範囲は狭い。崖の崩壊防止工事で消滅した生育地もあり、絶滅の危険性が高い。

県内分布	豊後水道域
分布域	四国,九州(大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	海岸の崖地や岩上。
現 状	岬の先端部や島に生育する。当該地域の南に遍在し、生育する範囲は狭い。
備 考	

マメダオシ

学名 *Cuscuta australis* R. Br.

目名

目名学名

科名 ヒルガオ科

科名学名 Convolvulaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：I A (CR)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(姫島・国東海岸), (日田低地・丘陵地), (別府湾沿岸域), (北川上流域)
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	台湾, 中国, 東南アジア, オーストラリア
生育環境	低地の草地。
現 状	「新版大分県植物誌」(1989)には上記各地域の生育地が掲載されており, やや普通に見られると記載されている。現在では, どの地域でも生育地は把握できていない。
備 考	

ハマネナシカズラ

学名 *Cuscuta chinensis* Lam.

目名

目名学名

科名 ヒルガオ科

科名学名 Convolvulaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(周防灘海岸)
分布域	本州(中部地方以西),四国,九州(福岡・佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島),琉球
世界的分布	台湾,中国,東南アジア,オーストラリア
生育環境	沿海地の草地や林縁。
現状	「新版大分県植物誌」(1989)には「周防灘海岸」の記録があるが、これは「大分県植物誌」(1953)での記録であり、その後、県内の生育は把握されていない。
備考	

ノアサガオ

学名 *Ipomoea acuminata* (Vahl) Roem. et Schult.

目名

目名学名

科名 ヒルガオ科

科名学名 Convolvulaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

「豊後水道域」の特定の島の林縁、空き地、段々畑の縁などに生育し、しばしば群生する。畑などが放置され、植生遷移の進行による影響を受けて消滅する生育地もあって、絶滅の危険性は高い。

県内分布	豊後水道域
分布域	本州(伊豆七島, 紀伊半島), 四国, 九州(長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	東南アジア, オーストラリア
生育環境	海岸の林縁や空き地。
現 状	ここ10年, 分布域, 生育地の範囲などはほとんど変化はない。しかし, 生育地周辺の樹木の繁茂で, 生育状態の悪化した所がみられる。
備 考	

ゲンバイヒルガオ

学名 *Ipomoea pes-caprae* (L.) Sweet subsp. *brasiliensis* (L.) Ooststr.

目名

目名学名

科名 ヒルガオ科

科名学名 Convolvulaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし



【選定理由】

亜熱帯、熱帯までの海岸砂浜に広く分布する。本県では以前から「豊後水道域」で生育が確認されていたが、冬を越すことはほとんど無かった。10年くらい前から、越冬して砂浜に繁茂している。絶滅の危険性は極めて高い。

県内分布	(別府湾沿岸域), 豊後水道域
分布域	四国(南部),九州(福岡・長崎・熊本・大分・宮崎),沖縄
世界的分布	熱帯一般
生育環境	海岸の砂地。
現 状	良好な生育地は, 冬の寒さや大波などによる影響を受けたが, 現在, 生育状態は回復している。「別府湾沿岸域」は1987年に生育し, 翌年に消滅した。
備 考	暖地植物。

ハナシノブ

学名 *Polemonium kiushianum* Kitamura

目名

目名学名

科名 ハナシノブ科

科名学名 Polemoniaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：I A (CR)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(九重火山群), (祖母・傾山地)
分布域	九州(熊本・大分)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や山地の草地や林縁。
現 状	「九重火山群」の生育地は, 人により採取されたものか, 消滅し, 「祖母・傾山地」の生育地は把握されていない。
備 考	基準標本産地[笹倉一久住道・祖母山]。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]。国内希少野生動植物種。

ホタルカズラ

学名 *Buglossoides zollingeri* (DC.) Johnston

目名

目名学名

科名 ムラサキ科

科名学名 Boraginaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内では生育地は点在し、個体数は少ない。植生の遷移や路傍の草刈などによる生育環境の変化で、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	国東地区, 姫島・国東海岸, 別府湾沿岸域, 大分川・大野川丘陵地, 大野川上流域
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 台湾, 中国
生育環境	低地や丘陵地の草地。
現状	植生遷移の進行による環境の変化や草刈などで消滅した生育地が多い。
備考	

マルバチシャノキ

学名 *Ehretia dikesonii* Hance var. *japonica* Nakai

目名

目名学名

科名 ムラサキ科

科名学名 Boraginaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

分布域は狭く、本県の生育地は海岸崖地斜面にごく希で、個体数も僅少。道路沿いで枝が切り払われたことがあり、絶滅の危険性は極めて高い。

県内分布	豊後水道域
分布域	本州(千葉以西), 四国, 九州(福岡・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	台湾, 中国
生育環境	海岸林内。
現 状	「豊後水道域」の道路沿いの海岸低木林内にごく少数が生育している。一部はクズなどが巻きあがって衰退している。
備 考	

ムラサキ

学名 *Lithospermum erythrorhizon* Sieb. et Zucc.

目名

目名学名

科名 ムラサキ科

科名学名 Boraginaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：I B (EN)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(玖珠丘陵地・山地),(由布・鶴見火山群),(大分川・大野川丘陵地),(豊後水道後背地域)
分布域	北海道,本州,四国,九州(長崎・熊本・大分・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島,中国(東北部),中国,ウスリー,アムール
生育環境	丘陵地や低山地のやや乾いた草地。
現状	「由布・鶴見火山群」では1990年まで生育していたことが確認されている。植林や植生遷移の進行による森林化で生育環境が悪化し、多くの標本や記録はあるが、生育の確認された所は今のところない。
備考	国立公園指定植物[瀬戸内海]

スナビキソウ

学名 *Messerschmidia sibirica* L.

目名

目名学名

科名 ムラサキ科

科名学名 Boraginaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

大分県では、姫島の海岸の砂地に生育が確認されている。対岸の国東半島の真玉町臼野や香々地町などでの記録もあるが、現在では生育の確認は出来ていない。生育地、個体数とも限られている。

県内分布	姫島・国東海岸
分布域	北海道,本州,四国,九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島,シベリア,ヨーロッパ
生育環境	海岸の崖地や砂地。
現状	現地では渡りをする蝶のアサギマダラの吸蜜植物としてあげられている。自生地を主とした生育環境(海岸崖地の狭い砂場)を大切にすることが望まれる。
備考	

トサムラサキ

学名 *Callicarpa shikokiana* Makino

目名

目名学名

科名 クマツヅラ科

科名学名 Verbenaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)



[選定理由]

県内での分布は局限し、個体数も極めて少ない。いずれも林道沿いのものが多く、道路工事や伐採などで、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	豊後水道後背地域
分布域	四国,九州(長崎・大分・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	丘陵地の林縁や林内。
現 状	林道沿いの林縁に生育していたもので、伐採され消滅した所がある。
備 考	

カリガネソウ

学名 *Caryopteris divaricata* (Siebold et Zucc.) Maxim.

目名

目名学名

科名 クマツヅラ科

科名学名 Verbenaceae

カテゴリ 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし



【選定理由】

県西部の「英彦山・犬ヶ岳山地」にだけ分布が限られている。かつては、「九重火山群」が記録されているが、生育地は確認されていない。谷沿いの林内に生育しているが、生育地は局限され、個体数も限られている。自然災害や植生遷移などで絶滅する危険性が極めて高い。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 日田低地・丘陵地, (九重火山群)
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・長崎・熊本・大分)
世界的分布	朝鮮半島, 中国
生育環境	山地の谷沿いの林内。
現状	2地域で生育地が確認されているが, いずれの生育地も個体数は極めて少ない。
備考	

ショウロウクサギ

学名 *Clerodendron trichotomum* Thunb. var. *esculentum* Makino

目名

目名学名

科名 クマツヅラ科

科名学名 Verbenaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

県内では「豊後水道域」の半島先端部や島などに分布するが、個体数は少ない。陽樹で林縁に生えることが多く、伐採されて生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	豊後水道域
分布域	四国,九州(長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島),沖縄
世界的分布	朝鮮半島(南部)
生育環境	海岸低木林や林縁。
現 状	岬や島にみられるが個体数は多くなく、道路辺で伐採されたものをみかける。
備 考	クサギの海岸型でクサギとの区別が難しいものもある。

カイジンドウ

学名 *Ajuga ciliata* Bunge var. *villosior* A. Gray ex Nakai

目名

目名学名

科名 シソ科

科名学名 Labiatae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)



【選定理由】

県内の生育地は火山性草原に点在し、個体数も少ない。草原の開発や人による採取で消滅する生育地が多く、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地
分布域	北海道, 本州, 九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や低山地の草地。
現 状	「由布・鶴見火山群」の生育地は道路工事により生育範囲が減少した。
備 考	

ニシキゴロモ

学名 *Ajuga yesoensis* Maxim.

目名

目名学名

科名 シソ科

科名学名 Labiatae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

丘陵地から低山地の林縁や林床に生え、全国的に分布域は狭い。本県での生育地は極めてまれで、個体数もごく少ない。森林伐採、植生遷移による生育環境の変化や登山者の踏圧などで、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分)
世界的分布	
生育環境	丘陵地から低山地の林縁, 林内。
現 状	いずれの生育地も, ごく少数が生育しており, わずかな環境変化でも消滅しそうな状態である。
備 考	

タニジャコウソウ

学名 *Chelonopsis longipes* Makino

目名

目名学名

科名 シソ科

科名学名 Labiatae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地が点在し、個体数も少ない。低地や丘陵地の生育地は、河川工事や道路工事などで、生育地の減少や絶滅が懸念される。

県内分布	九重火山群, 大分川・大野川丘陵地, 豊後水道後背地域
分布域	本州(関東南部以西), 四国, 九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低地から低山地の湿った林縁。
現状	河川工事や道路工事などで消滅した所や, 林内の下刈りで衰退した所がある。
備考	

ジャコウソウ

学名 *Chelonopsis moschata* Miq.

目名

目名学名

科名 シソ科

科名学名 Labiatae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(玖珠丘陵地・山地), (九重火山群)
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(長崎・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	低山地の林内。
現 状	「玖珠丘陵地・山地」, 「九重火山群」で採集された標本はあるが, その生育地は確認されていない。
備 考	

ミズネコノオ

学名 *Eusteralis stellata* (Lour.) Murata

目名

目名学名

科名 シソ科

科名学名 Labiatae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 準(NT)

NO IMAGE

[選定理由]

生育地が極めて希で、個体数も少ない。生育地の生育環境の変化が著しく、消滅した生育地があつて、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	中津・宇佐低地, 別府湾沿岸域, 豊後水道域
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 台湾, 中国, 東南アジア
生育環境	低地の池畔や水湿地。
現 状	「別府湾沿岸域」の標本はあるが, その生育地は把握されていない。
備 考	

ミズトラノオ

学名 *Eusteralis yatabeana* (Makino) Murata

目名

目名学名

科名 シソ科

科名学名 Labiatae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(耶馬溪地区),(中津・宇佐低地)
分布域	本州,四国,九州(福岡・佐賀・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島,中国(東北部),ウスリー,アムール
生育環境	低地のため池や水湿地。
現状	「耶馬溪地区」,「中津・宇佐低地」で採集されているが,その後生育地の状況が変わり,その生育状況は把握されていない。
備考	

マネキグサ

学名 *Lamium ambiguum* (Makino) Ohwi

目名

目名学名

科名 シソ科

科名学名 Labiatae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: 準 (NT)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(耶馬溪地区),(英彦山・犬ヶ岳山地),(玖珠丘陵地・山地),(九重火山群)
分布域	本州(神奈川以西),四国,九州(福岡・大分)
世界的分布	
生育環境	丘陵地の溪谷沿いの林内。
現 状	「耶馬溪地区」,「英彦山・犬ヶ岳山地」,「玖珠丘陵地・山地」,「九重火山群」の標本及び記録はあるが,いずれもその生育状況は把握されていない。
備 考	

ヒメキセワタ

学名 *Lamium chinense* Benth. var. *tuberiferum* (Makino) Murata

目名

目名学名

科名 シソ科

科名学名 Labiatae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(豊後水道域)
分布域	九州(大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	
生育環境	海岸の畑地。
現 状	「豊後水道域」の島で採集された標本はあるが、その地生育状況は把握されていない。
備 考	

キセワタ

学名 *Leonurus macranthus* Maxim.

目名

目名学名

科名 シソ科

科名学名 Labiatae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は散在するが、個体数は少ない。植生の遷移や林道の手入れなどにより消滅する生育地が多く、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 玖珠丘陵地・山地, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域, 石灰岩地域, 大野川上流域, 祖母・傾山地
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部), 中国, ウスリー
生育環境	低地や丘陵地の草地, 林縁。
現 状	「由布・鶴見火山群」では, 植生遷移の進行により消滅した生育地が所々にみられる。
備 考	

シロネ

学名 *Lycopus lucidus* Turcz. ex Benth.

目名

目名学名

科名 シソ科

科名学名 Labiatae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし



[選定理由]

県内での生育地は「姫島・国東海岸」、「別府湾沿岸域」の2地域に限られている。「姫島・国東海岸」の生育地では群生地が見られるが、湿地の植生の遷移や河川工事などにより、生育地の減少や環境の悪化が懸念される。

県内分布	姫島・国東海岸, 別府湾沿岸域
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	東アジア, 北アメリカ
生育環境	低地の湿地。
現状	「別府湾沿岸域」の生育地は出水で埋没し、一時、その生育が確認されなかったが、新たな生育地が見つかった。その生育地も獣(イノシシ)の害で個体数が激減している。「姫島・国東海岸」の河川に、新たな群生地が見つかった。
備考	

エゾシロネ

学名 *Lycopus uniflorus* Michx.

目名

目名学名

科名 シソ科

科名学名 Labiatae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

生育地は火山性高原の湿地に散在していて少ない。高原の土地改変や周辺地からの水質汚染により植生が変化し、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	九重火山群, 由布・鶴見火山群
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(佐賀・大分)
世界的分布	樺太, 千島, 朝鮮半島, 中国(東北部), 東シベリア, 北米
生育環境	丘陵地から山地の湿地。
現 状	「玖珠丘陵地・山地」では水質汚濁で植生が変化して消滅し, 「九重火山群」では草地開発で, 生育地が改変されて消滅した所がある。
備 考	北方寒冷地要素の植物で, 九州は, 分布の南限域にあたる。

ホソバヤマジソ

学名 *Mosla chinensis* Maxim.

目名

目名学名

科名 シソ科

科名学名 Labiatae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は岩場に散在し、個体数はかなり多い。人里近い生育地では人為の影響を受け、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 中津・宇佐低地,
分布域	本州(西部), 九州(佐賀・大分)
世界的分布	朝鮮半島(南部), 中国, 台湾
生育環境	低地や丘陵地の乾いた岩場。
現状	確認された生育地は比較的立ち寄りやすい岩場だけで、同様な生育環境が広く分布している。
備考	日本での分布域は西南日本の狭い範囲である。

ヤマジソ

学名 *Mosla japonica* (Benth.) Maxim.

目名

目名学名

科名 シソ科

科名学名 Labiatae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 準 (NT)

NO IMAGE

[選定理由]

県内では北部・西部・中部地域の火山岩地草原に生え、生育地は点在して個体数も少ない。植生遷移の進行による環境変化で、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	国東地区, 英彦山・犬ヶ岳山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大野川上流域
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島(南部)
生育環境	丘陵地や低山地の草原や林縁。
現 状	1年生短草な植物で、植生の遷移により生育状態に消長がみられる。登山路沿いなどでは、生育の衰退した所がある。
備 考	

スズコウジュ

学名 *Perillula reptans* Maxim.

目名

目名学名

科名 シソ科

科名学名 Labiatae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は散在し、個体数もかなり多い。溪谷沿いに生育しているため、森林伐採や出水などによる生育環境の変化が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 津江山地, 北川上流域
分布域	本州(愛知以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や低山地の溪谷沿いの林内。
現状	最近、「北川上流域」や「津江山地」の生育地が確認でき、県内の分布地域が広がった。
備考	

ミゾコウジュ

学名 *Salvia plebeia* R. Br.

目名

目名学名

科名 シソ科

科名学名 Labiatae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：準(NT)

NO IMAGE

【選定理由】

近年、各地で減少しているとされるが、本県ではかなりの生育地があり、個体数も多くみられる。低地の開発や河川氾濫などで、生育地の減少が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区,中津・宇佐低地,英彦山・犬ヶ岳山地,日田低地・丘陵地,別府湾沿岸域,大分川・大野川丘陵地,大野川上流域
分布域	本州,四国,九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島),沖縄
世界的分布	朝鮮半島,中国(東北部),中国,台湾,インド,マレーシア,オーストラリア
生育環境	低地や丘陵地の水湿地。
現状	生育地では個体数が多く,生育環境はかなり安定しているが,土地開発や洪水で生育地が消滅した所もある。
備考	

コナミキ

学名 *Scutellaria guilielmii* A. Gray

目名

目名学名

科名 シソ科

科名学名 Labiatae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

海岸の礫浜や林縁に生え、生育地は希で、個体数も少ない。海岸開発や道路工事、植林による植生の遷移により、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	(別府湾沿岸域), 豊後水道域
分布域	本州(千葉以西), 四国, 九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	
生育環境	海岸の礫浜や林縁。
現 状	「別府湾沿岸域」の生育地は、海岸の遊歩道工事で消滅した。
備 考	

ミヤマナミキ

学名 *Scutellaria shikokiana* Makino

目名

目名学名

科名 シソ科

科名学名 Labiatae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内で確認された生育地は少ない。自然災害や植生の変化により、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 日田低地・丘陵地, 津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 祖母・傾山地
分布域	本州(関東地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低山地や山地の林縁や林内。
現 状	短草のため, 崖くずれによる消滅や植生遷移の進行により消滅した生育地がある。
備 考	

ケミヤマナミキ

学名 *Scutellaria shikokiana* Makino var. *pubicaulis* (Ohwi) Kitamura

目名

目名学名

科名 シソ科

科名学名 Labiatae

カテゴリー 大分県: IA(CR) 環境省: IB(EN)

NO IMAGE

[選定理由]

分布域はごく狭い。本県の生育地も点在し、個体数も極めて少ない。林縁に生えることが多く、森林伐採や林縁の植生遷移の進行による生育状態の消長が著しく、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地, 北川上流域
分布域	四国(愛媛), 九州(大分)
世界的分布	
生育環境	低山地や山地の林縁。
現 状	生育が持続しているかどうか, 生育状態の把握されていない生育地がある。
備 考	

ナミキソウ

学名 *Scutellaria strigillosa* Hemsl.

目名

目名学名

科名 シソ科

科名学名 Labiatae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

海岸の磯浜や林縁に生え、生育地は希で、個体数も少ない。海岸開発で消滅したり、植林されて消滅した生育地が多くなって、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	姫島・国東海岸, (別府湾沿岸域), 豊後水道域
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・大分)
世界的分布	樺太, 千島, 朝鮮半島, 中国(東北部), アムール, ウスリー
生育環境	海岸の磯浜や林縁。
現 状	「別府湾沿岸域」の生育地は, 海岸埋め立てや港湾整備などの改変で消滅した。
備 考	

ケナシイヌゴマ

学名 *Stachys riederi* Chamiss var. *japonica* (Miq.) Hara

目名

目名学名

科名 シソ科

科名学名 Labiatae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内では湿地周辺に生育し、個体数は極めて少ない。湿地開発や遷移進行などで、絶滅の危険性が高い。

県内分布	(耶馬溪地区), 津江山地, 豊後水道後背地域
分布域	北海道, 本州, 九州(佐賀・長崎・大分・宮崎), 沖縄
世界的分布	台湾, 中国, 中国(東北部), アムール
生育環境	丘陵地の湿地周辺や草地。
現 状	「耶馬溪地区」で採集された標本はあるが、その生育地は把握されていない。
備 考	

アオホオズキ

学名 *Physalium savatieri* (Makino) Makino

目名

目名学名

科名 ナス科

科名学名 Solanaceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

県内各地域での生育地が記録、確認されているが、近年、それらの地域での生育状況の確認は少ない。生育地の減少や絶滅が懸念される。

県内分布	(英彦山・犬ヶ岳山地), (津江山地), 由布・鶴見火山群, 北川上流域
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	丘陵地から山地の谷沿いのやや湿った林内。
現 状	県内各地の深山の生育地から採集された標本から記載されており, その生育地の一部は持続されていると考えられる。
備 考	

ヤマホオズキ

学名 *Physalis chamaesarachoides* Makino

目名

目名学名

科名 ナス科

科名学名 Solanaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: IB(EN)

NO IMAGE

[選定理由]

生育地が点在し、生育範囲も狭く、個体数も極めて少ない。林縁や路傍に生育するものが多く、林道や林業の各種事業によって絶滅する危険性が高い。

県内分布	耶馬溪地区, 日田低地・丘陵地, 玖珠丘陵地・山地, 豊後水道後背地域, 大野川上流域
分布域	本州(関東地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	丘陵地の林縁。
現状	近年, 確認されなくなった生育地が多くなっている。
備考	

ゴマクサ

学名 *Centranthera cochinchinensis* (Lour.) Merr.

目名

目名学名

科名 ゴマノハグサ科

科名学名 Scrophulariaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は点在し、個体数は少ない。土地の改変や、野焼きの停止により生育状態が悪化し、絶滅の危険性が高い。

県内分布	中津・宇佐低地, 玖珠丘陵地・山地, 由布・鶴見火山群, (別府湾沿岸域)
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	朝鮮半島, 台湾, 中国, インド
生育環境	低地や丘陵地の湿地。
現状	「別府湾沿岸域」の生育地は道路工事で消滅し, 「由布・鶴見火山群」の生育地は, 野焼きの停止による植生遷移の進行で衰退している。
備考	

マルバノサワトウガラシ

学名 *Deinostema adenocaulum* (Maxim.) Yamazaki

目名

目名学名

科名 ゴマノハグサ科

科名学名 Scrophulariaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(別府湾沿岸域),(大分川・大野川丘陵地)
分布域	本州,四国,九州(福岡・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島(済州島)
生育環境	低地や丘陵地の水田や湿地。
現状	「別府湾沿岸域」,「大分川・大野川丘陵地」で採集された標本はあるが,その生育は把握されていない。
備考	

キュウシュウコゴメグサ

学名 *Euphrasia iinumae* Takeda var. *kiusiana* (Y. Kimura) Ohwi

目名

目名学名

科名 ゴマノハグサ科

科名学名 Scrophulariaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は希で、個体数は極めて少ない。野焼きされる草原や火山山頂帯の風衝地草原に生えるが、野焼きが停止されて生育環境が悪化し、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	由布・鶴見火山群
分布域	本州(中国),九州(福岡・佐賀・熊本・大分)
世界的分布	
生育環境	低山地や火山山頂帯の草原。
現状	野焼きが停止されて、生育の把握されない所がある。
備考	類似したものにタチコゴメグサ(<i>Euphrasia maixmowiczii</i>),ツクシコゴメグサ(<i>Euphrasia multifolia</i>)がある。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]

ツクシゴメグサ

学名 *Euphrasia multifolia* Wettst.

目名

目名学名

科名 ゴマノハグサ科

科名学名 Scrophulariaceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: I B (EN)

NO IMAGE

【選定理由】

日本固有種であり、主として県西部の「玖珠・丘陵地山地」、「由布・鶴見火山群」や「九重火山群」などの丘陵地の草原に分布しているが、祖母山での記録もみられる。いずれの地域も個体数は多くない。野焼きの休止や植林などによる植生遷移や草刈りなどによる絶滅が懸念される。

県内分布	大分川・大野川丘陵地, 津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 由布・鶴見火山群, 九重火山群, 祖母・傾山地
分布域	本州(中国地方), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	丘陵地の草原。
現状	毎年野焼きが行われる「由布・鶴見火山群」「九重火山群」の草原では, かなり多くの生育地が確認されている。
備考	

キクモ

学名 *Limnophila sessiliflora* Bl.

目名

目名学名

科名 ゴマノハグサ科

科名学名 Scrophulariaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は点在し、生育範囲は狭い。水環境が悪化して生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 中津・宇佐低地, 別府湾沿岸域, 豊後水道後背地域
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部), 中国, 台湾, インド
生育環境	低地の池沼。
現 状	水環境が悪化して生育の衰退した所がある。
備 考	

シソバウリクサ

学名 *Lindernia setulosa* (Maxim.) Tuyama

目名

目名学名

科名 ゴマノハグサ科

科名学名 Scrophulariaceae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(中津・宇佐低地)
分布域	本州(紀伊半島), 四国, 九州(大分・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	
現 状	「中津・宇佐低地」での文献記録はあるが, その生育地は把握されていない。
備 考	文献[初島住彦: 日本列島における暖地植物の分布(1) 鹿児島県の植物 8 (1986)]

ホソバママコナ

学名 *Melampyrum setaceum* (Maxim.) Nakai

目名

目名学名

科名 ゴマノハグサ科

科名学名 Scrophulariaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: IB(EN)

NO IMAGE

【選定理由】

県内では県北地域に点在し、個体数は少ない。草原や岩場、林縁に生え、人里近い生育地では草刈などの人為が及び、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	耶馬溪地区, 中津・宇佐低地, 玖珠丘陵地・山地
分布域	本州(近畿以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・大分)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部)
生育環境	低地や丘陵地の草地や林縁。
現 状	生育環境が不安定で, 消滅した生育地がある。
備 考	大陸系遺存植物。九州は分布の南限域にあたる。

スズメノハコベ

学名 *Microcarpaea minima* (Koenig) Merrill

目名

目名学名

科名 ゴマノハグサ科

科名学名 Scrophulariaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)

NO IMAGE

[選定理由]

水湿地や水田に生える微小な1年草。生育地は少ない。不安定な水田などの生育地では、生育状態に著しい消長がみられ、絶滅の危険性が高い。

県内分布	別府湾沿岸域, 豊後水道域
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 台湾, 中国, インド, マレーシア, オーストラリア
生育環境	低地の水湿地や水田。
現 状	確認された生育地は極めて少なく, 生育環境に対する適応性などが十分に把握されていない。
備 考	

クチナシグサ

学名 *Monochasma sheareri* (Moore) Maxim.

目名

目名学名

科名 ゴマノハグサ科

科名学名 Scrophulariaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

県内では「日田低地・丘陵地」に生育しており、個体数は少ない。生育地が道路に接しているため人為的な影響を受けやすく、絶滅する危険性が高い。

県内分布	日田低地・丘陵地
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低地や丘陵地の路傍や林縁。
現 状	2か所の生育地が確認されているが、いずれも路傍に生育しているため、生育環境は不安定である。
備 考	

ツクシシオガマ

学名 *Pedicularis refracta* (Maxim.) Maxim.

目名

目名学名

科名 ゴマノハグサ科

科名学名 Scrophulariaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし



【選定理由】

九州を分布域とし、本県が北限域となる。県内では広く散在し、個体数は少なくないが、草原の管理放棄や生育地の改変により、減少や消滅が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地, 大野川上流域, 祖母・傾山地
分布域	九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や低山地の湿った草地。
現 状	水田や畑地周辺の草刈りにより、消滅した生育地がみられる。
備 考	九州特産種で、本県が分布の北限域となる。基準標本産地[久住山]。国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]。

ゴマノハグサ

学名 *Scrophularia buergeriana* Miq.

目名

目名学名

科名 ゴマノハグサ科

科名学名 Scrophulariaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)

NO IMAGE

【選定理由】

県内での分布は草原に限られ、生育地は点在している。多年草であるが、道路整備の草刈りにより、種子の結実が困難となり、個体数は少なくなっている。生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	別府湾沿岸域, 大分川・大野川丘陵地, 玖珠丘陵地・山地, 由布・鶴見火山群, 九重火山群
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国東北部, 中国
生育環境	低地や丘陵地の草地や林縁。
現 状	いずれの地域でも個体数は少ない。
備 考	

イヌノフグリ

学名 *Veronica didyma* Tenore var. *lilacina* (Hara) Yamazaki

目名

目名学名

科名 ゴマノハグサ科

科名学名 Scrophulariaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)

NO IMAGE

[選定理由]

近年、本県での生育地は激減し、個体数も極めて少なくなった。農耕や埋め立てなどの人為が加わり、帰化植物との競合もあって生育が阻まれ、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 中津・宇佐低地, 日田低地・丘陵地, 別府湾沿岸域, 大分川・大野川丘陵地, 豊後水道域, 豊後水道後背地域, 大野川上流域, 北川上流域
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	中国, 朝鮮半島, 台湾
生育環境	低地や丘陵地の路傍や草地。
現状	フラサバソウ (<i>Veronica hederifolia</i>) の侵入が著しく, 生育状態の衰退した生育地が増えている。
備考	

ハマクワガタ

学名 *Veronica javanica* Blume

目名

目名学名

科名 ゴマノハグサ科

科名学名 Scrophulariaceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

県内での分布は「豊後水道域」に限られ、これら地域の海岸の路傍、荒地などに見られる。いずれの生育地も個体数は少ない。海岸開発や道路工事などによる生育地の減少が懸念される。

県内分布	豊後水道域
分布域	本州(神奈川県以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 琉球
世界的分布	台湾, 中国, マレーシア, インド, アフリカ, 南アメリカ
生育環境	海岸近くの路傍や荒地。
現状	目立たない花で、路傍や耕作される畑地に生育するため、除草剤で駆除されることもある。
備考	

ツクシトラノオ(ヒロハトラノオ)

学名 *Veronica kiusiana* Furumi

目名

目名学名

科名 ゴマノハグサ科

科名学名 Scrophulariaceae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(九重火山群)
分布域	
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部)
生育環境	
現 状	「久住町古街道」の標本を基に記載されたが, その生育地は把握されていない。
備 考	基準標本産地[久住町古街道]。国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 祖母傾]。文献[古海正福: 植物学雑誌 30 (1916)]

ホソバヒメトラノオ

学名 *Veronica linariaefolia* Pall. ex Link

目名

目名学名

科名 ゴマノハグサ科

科名学名 Scrophulariaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(玖珠丘陵地・山地), (九重火山群), (由布・鶴見火山群), (大分川・大野川丘陵地)
分布域	本州(紀伊半島以西), 四国, 九州(長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国, 蒙古, アムール, ウスリー, 台湾, シベリア
生育環境	丘陵地の草原。
現 状	上記の地域で採集された標本はあるが, 植林地や畑地などに変わり, いずれもその生育状況は把握されていない。
備 考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 日豊海岸]。

オオホソバトラノオ

学名 *Veronica linariaefolia* Pall. ex Link var. *dilatata* (Nakai et Kitagawa) Nakai et Kitagawa

目名

目名学名

科名 ゴマノハグサ科

科名学名 Scrophulariaceae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(玖珠丘陵地・山地), (九重火山群), (由布・鶴見火山群), (大分川・大野川丘陵地)
分布域	本州(紀伊半島以西), 四国, 九州(長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国, 蒙古, アムール, ウスリー, 台湾, シベリア
生育環境	丘陵地の草原。
現状	上記の地域で採集された標本はあるが, 植林地や畑地などに変わり, いずれもその生育状況は把握されていない。
備考	

ヤマトラノオ

学名 *Veronica rotunda* Nakai var. *subintegra* (Nakai) Yamazaki

目名

目名学名

科名 ゴマノハグサ科

科名学名 Scrophulariaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし



【選定理由】

九州では本県と熊本県に分布する。県内では分布域が狭く個体数も多くない。土地改変や野焼きの停止さらに、人による採取もあって、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群
分布域	本州, 四国, 九州(熊本・大分)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部), アムール, ウスリー, 樺太
生育環境	丘陵地から山地の草原。
現 状	植生が遷移して生育が衰退し, 確認できない生育地が多くなっている。
備 考	北方寒冷地要素の植物。

カワジサ

学名 *Veronica undulata* Wall.

目名

目名学名

科名 ゴマノハグサ科

科名学名 Scrophulariaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：準(NT)

NO IMAGE

【選定理由】

低地や丘陵地の河川や池沼に散在して生育し、生育地によっては群生している所もある。河川の改修、氾濫による流失などの影響が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 中津・宇佐低地, 日田低地・丘陵地, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域, 大分川・大野川丘陵地, 大野川上流域
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	台湾, 中国, 朝鮮半島 / 北半球
生育環境	低地や丘陵地の水湿地, 河原。
現 状	河川の改修や氾濫, 流失などで個体数が減ったり, 生育状態の悪くなった所がみられる。
備 考	

ナンゴククガイソウ

学名 *Veronicastrum sibiricum* (L.) Pennell var. *australe* Yamazaki

目名

目名学名

科名 ゴマノハグサ科

科名学名 Scrophulariaceae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(九重火山群)
分布域	九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	低山地の谷の草地。
現 状	「九重火山群」で採集された標本はあるが、その生育地は把握されていない。
備 考	

ツクシクガイソウ

学名 *Veronicastrum sibiricum* (L.) Pennell var. *zuccarinii* (Koidzumi) Hara

目名

目名学名

科名 ゴマノハグサ科

科名学名 Scrophulariaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: I B (EN)

NO IMAGE

[選定理由]

国内では本県と熊本県に分布する。県内の生育地は極めて希で、個体数も少ない。草地開発や人による採取で、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	九重火山群
分布域	九州(熊本・大分)
世界的分布	朝鮮半島(南部)
生育環境	丘陵地や低山地の谷の草地。
現 状	生育地の確認されている所は極めて少ない。花が人目につきやすいため、採取されることが多い。
備 考	国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]

ハマウツボ

学名 *Orobanche coerulescens* Steph.

目名

目名学名

科名 ハマウツボ科

科名学名 Orobanchaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(別府湾沿岸域)
分布域	北海道,本州,四国,九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島),琉球
世界的分布	台湾,朝鮮半島,中国,シベリア,東ヨーロッパ
生育環境	海岸の砂れき地。
現状	「別府湾沿岸域」の生育地は、海岸地形の変化や土地開発によって消滅した。県内の海岸で記録はあるが、その生育地は把握されていない。
備考	国立・国定公園指定植物[瀬戸内海, 日豊海岸]

キヨスミウツボ

学名 *Phacellanthus tubiflorus* Sieb. et Zucc.

目名

目名学名

科名 ハマウツボ科

科名学名 Orobanchaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

東アジアに広く分布する。広葉樹の根に寄生する。自然林の伐採、植林、土地開発などにより、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地, 祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国, 中国(東北部), 樺太, 沿海州
生育環境	丘陵地や低山地の林内。
現状	県内での確認例は少ない。目立ちにくい植物で、他にも生育する所があるものと思われる。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]

シシンラン

学名 *Lysionotus pauciflorus* Maxim.

目名

目名学名

科名 イワタバコ科

科名学名 Gesneriaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

日本での分布域は狭い。本県での生育地は極めて希で、個体数も少ない。渓谷林の伐採による絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	耶馬溪地区
分布域	本州(伊豆半島以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	中国(中南部)
生育環境	丘陵地の渓谷沿いの樹幹に着生。
現 状	樹幹に着生しているので、森林伐採や人の採取で消滅する可能性が大きい。
備 考	国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]

イワギリソウ

学名 *Opithandra primuloides* (Miq.) B. L. Burtt

目名

目名学名

科名 イワタバコ科

科名学名 Gesneriaceae

カテゴリー 大分県: I A(CR) 環境省: II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

分布域が狭く、県内での生育地は局限している。人による採取で著しく減少し、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	国東地区
分布域	本州(近畿以西), 四国, 九州(大分・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	丘陵地の岩上。
現 状	岩上に生育しているが、人の手が及ぶ所はほとんど採取されて、絶滅状態になっている。
備 考	九州は分布の南限域にあたる。国立公園指定植物[瀬戸内海]。指定希少野生動植物。

ムラサキミミカキグサ

学名 *Utricularia affinis* Wight

目名

目名学名

科名 タヌキモ科

科名学名 Lentibulariaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省： 準 (NT)

NO IMAGE

[選定理由]

県内の生育地は点在し、個体数は少ない。湿地開発や植生遷移の進行により、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	日田低地・丘陵地, 津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	南アジア, オーストラリア, ニューカレドニア
生育環境	丘陵地の水湿地。
現 状	湿地の乾燥化が進行し, 生育状態が衰退して, 生育が確認できない所がある。
備 考	国立公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海]

ノタヌキモ

学名 *Utricularia aurea* Lour.

目名

目名学名

科名 タヌキモ科

科名学名 Lentibulariaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省： II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

確認された生育地はごく希。水質汚濁や他の水生植物との競合もあって、生育する池沼や個体数が減少し、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	中津・宇佐低地
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島(東部), 中国, マレーシア, インド
生育環境	低地の池沼。
現 状	古いため池に希に生えるが、水環境の悪化で、最近、生育地、個体数とも減少している。
備 考	国立公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海]

イヌタヌキモ

学名 *Utricularia australis* R.Br.

目名

目名学名

科名 タヌキモ科

科名学名 Lentibulariaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：準(NT)

NO IMAGE

[選定理由]

県内では、各地の池沼に生育するが、池沼の開発や、水質の変化などにより、生育地の減少や、環境の変化が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 中津・宇佐低地, 日田低地・丘陵地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域
分布域	本州, 四国, 九州(長崎・大分・鹿児島), 琉球
世界的分布	
生育環境	低地や丘陵地の池沼。
現 状	これまで、学者によりタヌキモとみなされてきた。
備 考	

ホザキノミミカキグサ

学名 *Utricularia caerulea* L.

目名

目名学名

科名 タヌキモ科

科名学名 Lentibulariaceae

カテゴリ 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内では西部・中部地域の火山性草原に偏在する。個体数は多くない。湿地環境の改変や野焼きの停止による生育環境の悪化が懸念される。

県内分布	玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	朝鮮半島, 中国, 台湾, インド, インドシナ, マレーシア, オーストラリア
生育環境	丘陵地の水湿地。
現 状	野焼きの中止により, 生育環境が悪化した生育地がみられる。
備 考	国立公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海]

ミカワタヌキモ(イトタヌキモ)

学名 *Utricularia exoleta* R. Br.

目名

目名学名

科名 タヌキモ科

科名学名 *Lentibulariaceae*

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(中津・宇佐低地)
分布域	本州(東海・近畿地方),九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島),沖縄
世界的分布	台湾,インド,オーストラリア,アフリカ
生育環境	低地の池沼。
現 状	「中津・宇佐低地」で採集されているが,その後,生育地の状況が変わり,その生育は把握されていない。
備 考	

コタヌキモ

学名 *Utricularia intermedia* Hayne

目名

目名学名

科名 タヌキモ科

科名学名 Lentibulariaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

本県が分布の南限地。生育環境が乾燥化し、生育状態が悪化した所が生じて生育地が狭くなり、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	九重火山群
分布域	北海道,本州,九州(大分)
世界的分布	朝鮮半島,中国(東北部),千島,北半球の温帯
生育環境	低山地の湿原水湿地。
現 状	生育する湿原は極めて希。近年,湿原が乾燥化し,ごく一部の水湿地に生育している。
備 考	北方寒冷地要素の植物。隔離分布し,当該生育地が分布南限域となっている。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう,瀬戸内海]

ナガバジュズネノキ

学名 *Damnacanthus indicus* Gaertn. fil. var. *giganteus* Makino

目名

目名学名

科名 アカネ科

科名学名 Rubiaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

生育地は点在し、個体数も極めて少ない。森林伐採や植生遷移の進行により消滅した生育地があり、絶滅の危険性は高い。

県内分布	耶馬溪地区, 日田低地・丘陵地, 玖珠丘陵地・山地, 豊後水道後背地域
分布域	本州(愛知以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	丘陵地の溪谷沿い林内。
現 状	陰湿な溪畔林内の極めて狭い範囲に生育し, 消滅した生育地がある。
備 考	

ニセナガバジュズネノキ

学名 *Damnacanthus indicus* Gaertn. fil. var. *pseudogiganteus* Hatusima

目名

目名学名

科名 アカネ科

科名学名 Rubiaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は点在し、個体数も極めて少ない。森林伐採や植生遷移の進行により消滅した生育地があり、絶滅の危険性は高い。

県内分布	耶馬溪地区, 日田低地・丘陵地, 玖珠丘陵地・山地, 豊後水道後背地域
分布域	本州(愛知以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	丘陵地の溪谷沿い林内。
現 状	陰湿な溪畔林内の極めて狭い範囲に生育し, 消滅した生育地がある。
備 考	

キヌタソウ

学名 *Galium kinuta* Nakai et Hara

目名

目名学名

科名 アカネ科

科名学名 Rubiaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

県内での生育地は極めて希で、個体数も少ない。草刈などの人為や植生遷移の進行を受けやすく、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	九重火山群
分布域	本州, 四国, 九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	中国
生育環境	丘陵地や低山地の林縁。
現 状	林縁の草刈りで生育状態が悪くなった生育地がある。
備 考	

ハナムグラ

学名 *Galium tokyoense* Makino

目名

目名学名

科名 アカネ科

科名学名 Rubiaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

九州では大分県だけに分布し、県内では「九重火山群」の1か所で生育が確認されている。個体数は少なく、生育地は牧草地の近くで、農地整備や河川改修などにより、絶滅する危険性が極めて高い。

県内分布	九重火山群
分布域	本州(中部地方以北),九州(大分)
世界的分布	朝鮮半島,中国(東北部)
生育環境	丘陵地の湿地。
現 状	生育地は1か所で、その個体数も極めて少ない。
備 考	隔離分布し、本県は南限域にあたる。

ルリミノキ

学名 *Lasianthus japonicus* Miq.

目名

目名学名

科名 アカネ科

科名学名 Rubiaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

西南日本の比較的安定した常緑広葉樹林内に生育する。本県では、主として県東部・南部地域に分布する。生育地はスギ植栽林に改変されることが多く、生育地の縮小が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, (別府湾沿岸域), 豊後水道域, 豊後水道後背地域, 大野川上流域, 北川上流域
分布域	本州(静岡以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	台湾, 中国(南部)
生育環境	低地や丘陵地の林内。
現状	スギ林や畑地などに改変されて生育地が減少している。「別府湾沿岸域」の標本はあるが, その生育地は把握されていない。
備考	

サツマルリミノキ

学名 *Lasianthus japonicus* Miq. var. *satumensis* (Matsumura) Makino

目名

目名学名

科名 アカネ科

科名学名 Rubiaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

西南日本の比較的安定した常緑広葉樹林内に生育する。本県では、主として県東部・南部地域に分布する。生育地はスギ植栽林に改変されることが多く、生育地の縮小が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, (別府湾沿岸域), 豊後水道域, 豊後水道後背地域, 大野川上流域, 北川上流域
分布域	本州(静岡以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	台湾, 中国(南部)
生育環境	低地や丘陵地の林内。
現状	スギ林や畑地などに改変されて生育地が減少している。「別府湾沿岸域」の標本はあるが, その生育地は把握されていない。
備考	

ミサオノキ

学名 *Randia cochinchinensis* (Lour.) Merrill

目名

目名学名

科名 アカネ科

科名学名 Rubiaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

国内では分布が限られており、本県では県東部・南部地域の常緑樹林内に希に生育している。森林伐採やスギ植林により、生育地の消滅が懸念される。

県内分布	豊後水道域, 豊後水道後背地域, 北川上流域
分布域	本州(和歌山), 四国, 九州(長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	台湾, 中国, マレーシア, インド, オーストラリア
生育環境	低地の林内。
現 状	生育地はスギ植林に改変されて消滅した所が多く, 神社林などにわずかに残されている。
備 考	

ヘツカニガキ

学名 *Sinoadina racemosa* (Sieb. et Zucc.) Ridsd.

目名

目名学名

科名 アカネ科

科名学名 Rubiaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

沿海地の林内や林縁に生育するが、個体数は多くない。時に大木になる。植林や森林伐採などによる影響が懸念される。

県内分布	別府湾沿岸域, 豊後水道域, 豊後水道後背地域,
分布域	四国,九州(長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	台湾,中国
生育環境	低地や丘陵地の林内や林縁。
現状	海岸から, その背後地に広くみられるが, いずれも個体数は多くない。
備考	

ツクバネウツギ

学名 *Abelia spathulata* Sieb. et Zucc.

目名

目名学名

科名 スイカズラ科

科名学名 Caprifoliaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

分布域が点在して、個体数も極めて少ない。低木のため植生遷移の進行による生育環境の変化で、生育地の消滅が懸念される。

県内分布	祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	本州, 四国, 九州(佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低山地の林内, 林縁。
現 状	県内では局所的に分布し, 個体数も僅少である。
備 考	

ウスバヒョウタンボク

学名 *Lonicera cerasina* Maxim.

目名

目名学名

科名 スイカズラ科

科名学名 Caprifoliaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省： II (VU)

NO IMAGE

【選定理由】

県の中南部に偏在して隔離分布する。低木のため、常に被圧の影響を受けやすい。個体数も少なく、絶滅の危険性が高い。

県内分布	九重火山群,大野川上流域
分布域	本州(近畿地方以西),四国,九州(熊本・大分)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や低山地の林内。
現状	落葉広葉樹林の低木層として生育し、個体数は少く、植生遷移の進行により衰退した生育地がみられる。
備考	ソハヤキ要素の植物。

ヤマヒョウタンボク

学名 *Lonicera mochidzukiana* Makino var. *nomurana* (Makino) Nakai

目名

目名学名

科名 スイカズラ科

科名学名 Caprifoliaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は点在し、個体数も極めて少ない。植生遷移の進行により消滅した生育地があり、絶滅の危険性は高い。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 日田低地・丘陵地, 大野川上流域
分布域	本州(東海道以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や低山地の林内。
現 状	森林伐採により衰退した生育地がある。
備 考	国立公園指定植物[瀬戸内海]

ハクサンボク

学名 *Viburnum japonicum* (Thunb.) Spreng.

目名

目名学名

科名 スイカズラ科

科名学名 Caprifoliaceae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(耶馬溪地区), (姫島・国東海岸)
分布域	本州(静岡, 三宅島, 八丈島, 山口), 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 琉球
世界的分布	
生育環境	低地や丘陵地の林内。
現 状	ハクサンボクは九州西域では多産するが, 東域では極めてまれである。「姫島・国東海岸」のものは台風で倒壊した鎮守の森の中から見つかり, 保護して植えられたものが, 不明になってしまった。「耶馬溪地区」のものは幼木であったため林内で生長できなかったと考えられ, いずれの地域もその生育は確認できていない。
備 考	

レンプクソウ

学名 *Adoxa moschatellina* L.

目名

目名学名

科名 レンプクソウ科

科名学名 Adoxaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし



[選定理由]

日本における分布域は著しく狭い。県内の生育地は点在し、個体数は極めて少ない。耕作や生育地の植生の遷移で、絶滅の危険性は極めて高い。

県内分布	大野川上流域
分布域	九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部)
生育環境	丘陵地の溪谷辺や水田の畦。
現 状	水田の耕作で畦の生育地が減少したり、植生遷移の進行により衰退している所がある。
備 考	大陸系遺存植物。

マツムシソウ

学名 *Scabiosa japonica* Miq.

目名

目名学名

科名 マツムシソウ科

科名学名 Dipsacaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

火山性高原に生育するが、野焼きの停止による植生遷移の進行や人工牧野への改変など、生育環境の変化により減少の傾向にある。また、人による採取も懸念される。

県内分布	津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域, 大分川・大野川丘陵地
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分)
世界的分布	
生育環境	丘陵地から山地の日当たりのよい火山性草原。
現状	秋に人の往来が著しい高原や登山道沿いでは、人の採取によって個体数が減少している。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]。越年草。

シデシヤジン

学名 *Asyneuma japonicum* (Miq.) Briq.

目名

目名学名

科名 キキョウ科

科名学名 Campanulaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内の生育地は中部や南部地域に偏在する。生育地は散在し、個体数はかなり多い。植生遷移の進行や道路沿いの草刈などの環境変化で、生育環境の悪化が懸念される。

県内分布	九重火山群, 大分川・大野川丘陵地, 大野川上流域, 祖母・傾山地
分布域	本州,九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島,中国(東北部),アムール,ウスリー
生育環境	丘陵地や低山地のやや湿った草原や林縁。
現 状	林縁に生えるため, 植生遷移の進行により生育状態が悪くなった所がある。
備 考	九州は南限域。大陸系遺存植物。国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 祖母傾]